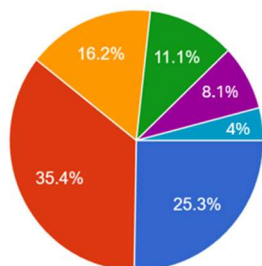


アンケート結果

■ 交通安全業務の経験期間

経験期間

99 件の回答



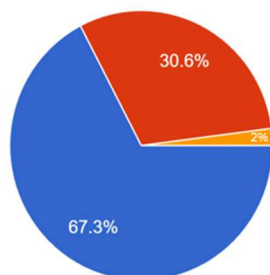
- 1年未満
- 1年～3年
- 3年～5年
- 5年～10年
- 10年～20年
- 20年以上

1年未満	25名	25.3%
1年～3年	35名	35.4%
3年～5年	16名	16.2%
5年～10年	11名	11.1%
10年～20年	8名	8.1%
20年以上	4名	4.0%

■ 講座内容への評価

講座内容

98 件の回答



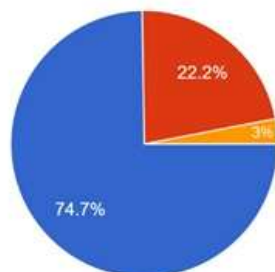
- 非常に満足
- やや満足
- どちらでもない
- やや不満足
- 不満足

非常に満足	66名	67.3%
やや満足	30名	30.6%
どちらでもない	2名	2.0%

■ 開催期間：3日間という日程はどうでしたか

開催期間 3日間

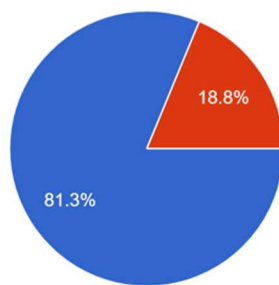
99 件の回答



- 適当
- 不適当(長い)
- 不適当(短い)

適当	75名	74.7%
不適當(長い)	22名	22.2%
	適当と思う日数は？ 1日間：4、2日間：14、その他：1	
不適當(短い)	4名	3.0%
	適当と思う日数は？ 4日間：2、5日間：2	

■開催時期：12/8～12/10という日程はどうでしたか



● 適当
● 不適當

適当	78名	81.3%
不適當	18名	18.8%

適当

- ・諸業務が比較的少ない時期で調整しやすかった。（複数コメントあり）
- ・市の教室が12月はクリスマスシーズンで少ないため、調整しやすかったです。
- ・参加者が開催者指定の日時に合わせるべきだと思います。
- ・調整しやすかった。
- ・繁忙期ではないため。
- ・これ以上後半になると年末で忙しくなる。
- ・平日の開催であったため。気を引き締めて参加することができたから。
- ・新年度に向けて、検討する時期であるため。
- ・休みを取やすい時期(比較的)
- ・冬の事故ゼロ運動の前で意識が高まるから。
- ・寒すぎなくて良かったです。
- ・前日は休みだったので準備できた。
- ・夏期よりも過ごしやすい、台風等も少ないので、受講の際の遅延など交通手段を気にしなくてよい。
- ・私にとっては適当だったが、寒い地域から来られる方は天候等不安だったと思う。
私は教室が少しすいてくる時期だったので、この時期は適当だった。
- ・経験を少し積んでから参加できるタイミングの方が多くと思うので、討議もしやすく、講義の内容もさらに興味を持ったり、意識を変えたり深めたりできる。
- ・私たち(山形県新庄市)の業務が落ちついている時期である為。
- ・年間のスケジュールの中で、12月は指導予定が少ないので受講しやすい。
- ・従事開始から約6ヶ月間が経過した時点であり、振り返りの時期としても適切な日程であった。
- ・交通安全教室が少し落ち着いてきた時期で日程調整がしやすかった。

- ・年内の交通安全教室が終了した時期であるため。
- ・比較的、他の業務が落ち着いていて、時間をとりやすい時期だったので、12月の開催はいいと思います。
- ・一年間で年末年始に入る前に見直しできる時期なのでいいと思う！
- ・交通指導員業務の今年一年間を振り返るときか課題や疑問など当該講座(講師やグループ討議)を通して、整理ができる。
- ・12月初旬は比較的、業務が空いている時期なので都合がよい。
- ・新年に向けて新たな意気込みで(スキルアップした自分)スタートできる。
- ・教室が集中している時期ではない為、余裕があるタイミングではある。
- ・あっという間に3日間過ぎ、ちょうど良かったです。内容のしっかりつまった講座だったので！
- ・新しい年を迎える前に気持ちを盛り上げる良い機会になりました。3日間しっかりと関連した講演を取り混ぜて頂き勉強になりました。
- ・ある程度実務を経験した上で知識の向上等を行うに適切な時期であると感じたから。
- ・交通安全等もない時期なので、まとめた期間、講座に参加できて良かったと思いました。また、4月～の教室の資料を年明けから作りはじめようと思っていたので、青切符のことなど詳しく聞くことができありがたかったです。
- ・4月から専門交通指導員になったため、8ヶ月という期間で交通安全についての知識が少しずつ増えている頃だったため。
- ・雪が降る前なのがいいです。
- ・交通安全週間中で社会全体の関心が高まっている時期に研修を受けることで、自身の交通安全に対する意識も自然と高まり、学びの意欲が向上します。
- ・特に不都合なことを感じなかったため。
- ・今年の活動を振り返りながら聞くことができた。交通事故が増える時期であり、年末の交通安全運動前に、指導者としての意識が高まり、良い時期に講座を受けることができた。
- ・教室の少ない時期で時間をとりやすかったため。
- ・仕事がおちついていて、まだそこまで寒くなかった。
- ・充実した濃い内容がしっかり組み込まれていました。
- ・交通安全教室のスケジュールとかぶりにくいので
- ・秋のお祭りなど行事も一段落して、仕事が立て込んでいなかったため、他の方に迷惑をかけることなく、研修が受けられたので。
- ・なか日が1日で、それ以外は地方の方々の移動を考えられており、適切だと思います。
- ・12月は交通安全教室の申込が少ない時期なので出席しやすいです。他に7月中旬～8月末(幼・小の夏休み中)も出席しやすいです。
- ・当市の年内の交通安全教室、催し物が終わったあとだったので、参加しやすかった。
- ・年末に交通死亡事故が多くあるため良いと感じたが、年度初めが可能であれば、年度初めでも良いと感じた。
- ・2日目は少し長かんじたが、内容ももりだくさんで充実していた。

- ・春や秋は教室が入ってしまいますので比較的教室が入らないこの時期に講座を行っていただけたので、参加させていただくことが出来ました。今後も夏(学校が夏休み)か冬の時期に開催していただきたい。
- ・交通安全教室が減る時期なので参加できました。今後、できれば夏休みなど計画していただければよいかと思います。また、3日間の日程を2日間に凝縮してはどうかと思いました。
- ・12月であったが寒すぎず、天候に恵まれた事もありとても良かった。
午前と午後の日があるのも嬉しい。
- ・秋の10月から11月は気温と気候が安定するため、外で園児の歩行訓練等を実施しており、その関係で予定が立て込んでいる。2～3月は交通安全教室の終了式、来年の準備に向けて忙しくなるので。ちょうど仕事に慣れてきて、少し余裕が出来るこの時期でとてもよかった。
- ・当町については11月、12月がメインの予算編成時期であるが、担当の繁忙期である11月の開催ではないため。
- ・年間の交通安全教室や啓発活動が後半に入り、見えてきた課題や反省をもとに講座がうけられるので、良い時期だと思います。逆に年度始めは参加は難しいです。
- ・業務が忙しすぎない時期でちょうどよい。得た知識を冬の教室に活用する準備ができる。
- ・自分は無職状態なのでいつの開催でも問題無いが、現職の方の12月は厳しいのでは?と心配もします。
- ・春は学校の講座がある。秋は高齢者の講座がある。よって、12月上旬は良。又8月も良いと思う。
- ・春・秋などの運動が落ちついているため。
- ・交通教室が落ち着いている時期だったので、じっくり取り組めた。
- ・主催者側の判断なので、参加者は可能かどうかだけです。
- ・入庁してから半年経ったが、業務内容や交通安全について知識が身についた上で講座を受けたことで、理解が深まったから。

不適當

- ・感染症など流行しやすい時期なので。(複数コメントあり)
- ・もう少し早い時期10月ごろがよい。12月ごろは冬の心配で交通が不安。感染症も不安(インフルエンザなど)
- ・12月第一週はTOKYO交通安全キャンペーンがあるため、1月下旬～3月初旬がよいのではないかと
- ・年末の月であるため、春や秋もしくは外出が難しい暑い季節に開催など
- ・我々の“声”が政府のどこまで届き、予算に影響するのかによりますが、時期としては死亡事故が起こる秋までに済ませたい。
- ・冬のため。飛行機の心配がある。
- ・人数が少ない職場なので、1日で済む内容が今は良かったです。
- ・出来れば交通安全週間以外の日程が好ましいかと思われます。
- ・大分県では、12月中に交通安全関連行事が多くあるので、可能であれば、11月中旬・下旬が理想的です。
- ・年末のため防犯の業務もあります

- ・交通安全教室の実施が多い時期とずれているから
- ・12月は年末でいろいろ気忙しいのですらしていただけると助かります。
- ・交通安全教室の予約が事前に入っているの、学校の休み、春・夏・冬の休みの期間が良いと思う。
- ・他の行事と重なった。
- ・福山市、交通安全教室専門員(小学生幼保担当)は3名しかいないので、1人抜けると、しんどい。事前にわかれば助かる(4月1日ぐらいから申し込みが始まる)
- ・研修日程、少々長いと思う。2日間が適当。
一日目講座、二日目、講座を受け、各項目毎にチームでの討議、質疑応答又は地域の問題点等の改善策、提案、まとめ発表の2日間を望みます。
- ・初任者にとっては上半期に実施していただいた方がより効果的だと思うため。
- ・年末に行うより、年度末の方が良いと思います。
- ・動きやすくて良かったが、交通安全週間(12/5～12/14、年末年始)ははずしてもらいたかった。
- ・月～水曜日ではなく、水～金曜日でやってほしい。
- ・講座がオンラインでしたので、個室に1人での講座となり、少し1人の時間が長く感じられた。

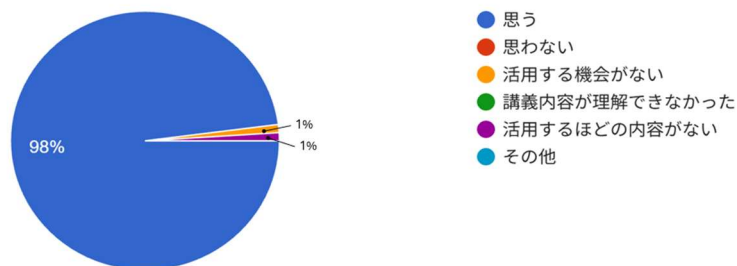
未回答

- ・他県、特に宿泊をする地域の場合、天候等による遅れなどがあります。特に降雪による影響を考えると、もう少し早い開催を望みます。

■ 講義の内容を今後活用したいか

活用したいか

99件の回答



思う	97名	98.0%
思わない	1名	1.0%
活用する機会が無い	1名	1.0%

思う

- ・交通安全教室での指導で活用していきたいと思います。(複数コメントあり)
- ・他自治体の指導員さんがどのように教室を行っているのか知ることが出来大変参考になった。今後私たちもこれらを参考にさせていただき、教室に活用していきたい。(複数コメントあり)
- ・たくさんの講師の方のお話を聞いて、いろいろな学びがあり、交通安全教室で自分なりに理解して少しずつ活用していきたい。
- ・市の職員が交通安全教室を行うことは無かったが、司会をしたことがあり、その際に話し方や内容について困ったことがあった。今回の講座を通じて、指導者としてどう伝えていくかを学ぶことができたため、活用していきたい。
- ・地域交通安全活動の定例会や交通安全教室担当の警察官と情報共有していきたい。
- ・ディスカッションの重要性がわかり、活用したいと思った。
- ・高齢者、幼児、地域の人、すべての人にかかわれるのでしっかり伝えていきたい。
- ・交通安全教育がティーチングで硬直化しているところ、実践的なコーチングの手法は成人、高齢者に向けて活用することができる。
- ・地元研修で手法を参考にプログラムを考えたい。
- ・指導内容は伝えるだけではなく、自ら考える事を促す指導によって、交通安全に対する思考力が上がるので、活用しようと思う。
- ・小学生の交通安全教室において、認知の度を踏まえ、プログラムに活用していきたい。
- ・本市の同僚、指導員への横展開を行いたいのので、帰って、市担当課と相談する。又、自身の開講座へは活用する。コーチング形式は大変参考になった。
- ・説得力のある、数字で示された参考資料や新しく得た知識を、他の指導員とも共有し、今後の教室等で活用していきたいと考えています。
- ・幼稚園、保育園、高齢者、小学校の交通安全教室の導入が参考にさせていただきたいと思いました。(警視庁 交通総務課様の発表のもの)
- ・これからの交通安全に対しての活用を生かして、実施していきたい。
- ・教室内容がマンネリ化してしまうため、他市町村の皆様から得た手法を取り入れて子どもたちの前で活用していきたい。
- ・どの講座もそれぞれのテーマ別に参考にある情報をたくさん得ることができたので、職場の中で情報共有してスキルアップさせながら、今後の啓発活動に活かしていきたいと思います。
- ・各種、交通安全教室などの子供達への講話の際に活用してみたい。
- ・対象に合わせた講座(体操・教材)を用いて、教室を行いたい。
- ・日頃得ることができない情報や啓発方法を学びましたので各世代に合わせて啓発をしたいと考えます。
- ・他の県の方がされている指導方法を参考にし、今後、交通教室でわかりやすく指導できるよう活用していきたいと思った。
- ・子どもの道路横断の判断能力とは？稲垣先生のは自分のしてきた手法で良かったと確信し、今後もつづけたいと思った。
- ・地域制はあるが、自分の地域にあった指導をしていく。

- ・すでに活用してます(交通安全活動推進員)新しい知識を持ち帰りたい。
- ・幼児、小学、中学、高齢者と様々な年齢に対応した交通安全ルールの啓発方法を学べたので、今後の交通安全教室を実施の際にしっかり活かして参ります。
- ・交通安全教室、出前講座の話す内容やポイント
- ・稲垣先生のお話が特に興味深く、実施に行った実験のデータや現状など、安全教室に伺う園の先生に伝えられたらいいなと思う。
- ・他の自治体の交通安全教室や活動の話を聞く、とても良い機会でした。手法等について、取り入れたいことがたくさんありました。
- ・新しい取り組みを考えたい。
- ・他府県での取組みなど参考になったこともありました。講師の方々の話しの中で、具体的に理解しやすい方法で教えることが重要であり、今後、相手の立場(年令等)に応じた話しをしていきたいと思います。
- ・交通安全教室で実施に子どもたちや保護者に話す際、受講した内容を取り入れて講話を行ってきたいです。
- ・高齢者の歩行、運転への啓発は地道に進めていく必要がある。
- ・市の小学校で開催している交通安全教室で活用していきたい。
- ・子どもの道路横断判断能力など参考に、今後の指導に活かしたい。
- ・ディスカッション型式の安全教室を参考にしたい。
- ・特に東京都市大学の稲垣様の講話にて、声かけが児童に与えるポジティブな事例をお話いただき、非常によい経験となった。交通安全講話の際に話して共有していきたい。
- ・子ども向けの教室の際にグループ討議で出された案などを活用していきたい。
- ・幼児、小、中学校、高齢者の交通安全教室で実際に活用していきたいと思いました。
- ・講座で得た情報を課内の指導員に共有するとともに、次年度からのプログラムに活用したいと思います。
- ・本市講座を改訂するにあたり、非常に有意義なものであったため。
- ・他市町のとり組み、アイデア、今やっている教室に取り入れたら、、、参考にし、よりよいマンネリ脱出、向上した教室を作っていきたい。
- ・自転車の教室で「ハンドル部分のみを使用して行く」という高松市の発表に、そういう方法もあるんだ！ととても参考になりました。
- ・他地域の教室の進め方はとても参考になりました。(デモや脳トレも)
- ・いきいき運転講座の実施
- ・視覚や伝える順番に工夫する事で、より効果的に伝える手法を私も活用させて頂こうと思います。
- ・同じような悩みや問題点を皆さんがどのように工夫されているかもちかえり共有して改善できる部分を探したい。
- ・各都道府県の実践の良い事例を実践したいと思う。「大切なことだから聞いてね」「約束してくれるかな」「正誤を言いながら質問する」等

- ・交通安全教室などでこちらが一方向的に話すのではなく、本講座で自分が体験したような体験型等を交えることで、対象者に合わせた分かりやすい伝え方をしていきたいと思った。
- ・子どもの特性として飛び出してしまうということに着目したカリキュラムを考えていきたいと思いました。またグループディスカッション形式の講習も効果が高いと知ることができたので、少しずつやっていきたいと思います。
- ・具体的な活用方法はわからないが、自分自身の交通安全への意識が高まったので、よりよい交通安全教室が実施できると思う。
- ・いきいき運転講座は楽しく、受講生もあきないので活用させていただきたいです。
- ・教室を行う上での言葉選びや話題の持っていく方に注意したい。
他市町の指導方法を参考にしたい。
- ・日々立哨する中で、子供達や地域の方達へ安心と安全を守る活動をしていきます。
- ・実験の結果で、子どもの車への認識や声かけ 1 つで行動が変わるという話を聞いたので、何を強く教えていくかどのように伝えようか考えるきっかけになりました。
- ・他県の方の交通安全教室の内容が知りたいと思い参加したので、同じような職の方と困りごとや今している内容など話ができてとても良かったです。教室の中でもこれはどうなのかなと思っている内容でも受講した内容を元に自信を持って説明できそうです。
- ・本市では様々な形での交通安全教室を行っているので、各世代、年代ごとに最適な内容の講義を行っていききたい。
- ・業務的にトラックドライバーに対する交通安全講話に活用させて頂きます。高速道路交通安全協議会での活動にも活かそうです。
- ・個人的な活動では朝の声掛け時に自転車に対し、ヘルメットの着用についての方法を工夫します。学校やスポーツ団体に対し、上司や教会の協力を得ながら交通ルール(ヘルメット着用)についての安全活動提案をしたい。
- ・交通安全教室の導入の仕方や他地域の事例を本市においても取り入れたいと思うので、持ち帰ったら他指導員と検討したい。
- ・稲垣先生のお話を聞き、子供達の心理を踏まえた教室を実施する。
- ・自転車のハンドルを使った講習が参考になった
- ・他の行政機関や指導員さんがどのような取組みをされているのか知れたので、取り入れてみたい。
- ・ぬり絵やダンボール等を利用し子供たちに飽きさせない様な工夫
- ・全国の指導員の人達と情報交換が出来た事、とても勉強になる講義でした。今後皆さんにお伝えしながら活動して行きたいと思います。
- ・場面場面での応用として活用できると思う
- ・職場での水平展開を図る。まずは班の勉強会などの場をとおして改善につながるものを話し合い実践に取り入れていく。
- ・いろんな立場で活躍されている方の考え方を学び、自分自身の活動に人として活用していきたいと思う！

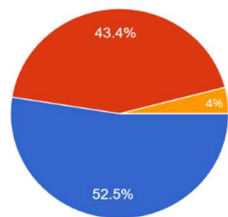
- ・保育所、小学校での交通安全教室の際に知り得た手法(手作りパネル)を使って子どもたちが、イメージしやすい(情景が思い浮かぶような)ように活用してみたい
- ・全国各地でのライフステージ別指導方法が参考になりました。
- ・すべて今の仕事に役立つ事だったので、教材をアップデートして使っていきたい。
- ・講習を受けた内容を生徒さんにお教えたいと思います。
- ・市民向けの交通安全教室や街頭啓発時に、本研修で得た知識を共有していきたい。
- ・学んだ事を、指導に加えたいと思います。(特に、ヘルメットの断面は子供、高齢者ともに知らせたい)
- ・グループ討議で出た内容について、寸劇やキャラクターになりきる等、子どもたちが興味を持つ内容が多く聞けた事で教室の際に取り入れていこうと思いました。
- ・それぞれの特性に合わせた指導
- ・手あそびやワークシート等の活用
- ・今の交通安全教育の流れはティーチングでなくコーチング参加型ということがよくわかった。人間的に難しい面もあるが、持ち帰って提案したい。
- ・導入の工夫
- ・アイスブレイクなどすぐ実践できそうだった
- ・受講生主体で学んでもらうというのはとても良い教育方法だと感じたため、一方的ではなく受講者主体の講習を取り入れたいと思います。
- ・長年、交通安全教育に携わってきたけれど、マンネリ化もしているし、外部からの勉強も全くなかったので。
- ・地域の活動で活用していきたいと考えます。自転車等を中心！
- ・安全教室などでの指導の時に活用したい。
- ・交差点での交通指導でしっかり子供たちに声かけする。
- ・自分自身交通ルールをしっかり守る。一旦停止を守り模範ドライバーとなる。
- ・様々な部署の講師で参考になることがあった。
- ・他の県の方の話を聞いたことでこれからの仕事へ生かせることが(作成するもの、活動のやり方)増えました。
- ・指導する立場として、今回の講座はとても参考になる資料、教材が多かったため、同じものを取り入れていきたい。
- ・今は活用する機会が少ないが、何かにつけて話して行きたい。
- ・グループ討議がにがあがったことを所属先に共有したい。
- ・教えて頂いた資料を使用して各支部へ広めていきたい。
- ・教室で動画を使わせてもらいたいと思います。
- ・現状の説明と状況など事件事例を受け安全に対する認識を新たに。チームでのディスカッションで得られた工夫を積極的に取り組み啓発に努めていきます。
- ・1校、1園、年間の少ない教室でいかに伝えられるか具体的に理解できました

思わない

・活用する機会がない

■意識の変化はあったか

意識の変化
99件の回答



● 大きな変化があった
● 少し変化があった
● 変化はなかった

大きな変化があった	52名	52.5%
少し変化があった	43名	43.4%
変化はなかった	4名	4.0%

大きな変化があった

- ・交通安全について意識が高まった。(複数コメントあり)
- ・自分で正しいと思っていた事が100%正解では無いと思えた事
- ・指導員の役割を改めて理解できた
- ・私たちの教育がデータでの効果もみとめられていると知れて自信を持てた
- ・同じグループの人達の話が聞け、感心する事が多かった
- ・マネ出来る事は参考にしたい。
- ・交通事故、事件への考え方や指導方法について等の意識が変わった。多く学ぶことができたから。
- ・今の仕事に関わること、親として、家族の1人1人や、関わる人への思いが変わりました。当たり前の毎日を通り過ぎていけるのは日々安全活動を行ってくれている人がいることへの感謝。そしてこの仕事に携わることへの意識改革ができました。
- ・全国各地の各々と交流することで更に自覚ができた
- ・子どもへの交通安全教育の重要性和日頃の自分の運転への意識も大きく変わった
- ・地域によって活動内容に差があり、今後も交流を行い、良い活動のとり込みを行っていきたく考えます。
- ・安全教育は、マニュアル通りではなく、伝わらなければ意味がないんだなと思った。
- ・今回の講義をつうじて、自分自身をふりかえることができました。
- ・安全教育の大切さを再確認できた。
- ・無意識にやっつけていることが自分でもある→見つめ直す機会となった。指導の際にも使えそう。
- ・今までは例年同じような教室内容を「こなす」意識が大きかったと感じます。今回の受講がきっかけになり、もっと子ども達に伝わる内容、定着、集中させる内容を他県の方から聞いた事により、自分達もさらに向上心を持ってがんばりたいという意識が大きくなりました。ありがとうございました。
- ・交通安全活動について、視野が広がった！
- ・交通事故が原因としての内在的要因の一つであることから余裕ある行動に努める。

- ・交通指導員として課題や問題点について、今回参加者の皆さまそれぞれ共通していることを確認できた。これを契機にスキルアップに努める
- ・各県や地域で工夫されていてとても勉強になり、ぜひ真似をし取り入れたいと思いました
- ・自分が思っている以上に、人、特に高齢者や子供に伝えることが難しいと分かったので、伝える方法を考えたい。
- ・私たちが行っている交通安全教育は普遍的なものであり、重要だという事が再認識出来た
- ・今までは個人レベルの活動で満足していたが、これからはもう一步前進し、提案出来る活動に変化出来るそうです。
- ・交通安全教室の質を高めて事故を少しでも減らしたいと思った。
- ・全国の受講者の様々な意見が聞けたり、アイデア、手法を学ぶことができました。取り入れることのできる講義内容も意識に変化をもたらしました。
- ・自分自身交通安全指導者養成講座を受けたことがなく、実務のみの経験であったので、今回、受講し、普段何気なく行っていること一つ一つがきちんと意味を成すものであると理解できたから。
- ・今している教室の内容が古いと考えていましたが、他の県の方も内容のマンネリ化や、子ども達への伝え方など、同じように悩んでいることを知れ、自分だけではないと思えたのが一番の変化でした。交通安全については全体を通して意識の再確認ができ、改めて幼児から高齢者まで自分の住んでいる地域の方に交通安全について、伝えていきたいと感じました。
- ・伝え方や交通への知識をもっと学んでいこうと思いました。
- ・全国からご参加の講座でしたら、課題問題は共通していることが多かったので安心した。どんな地域であっても地域に役立つ交通指導していきたい。
- ・交通事故は命にかかわるものなので、より一層身を引きしめて指導に取り組もうと思いました。
- ・交通安全というのは全ての人の協力、理解が必要ということを学びました。とても身近なことで全ての人のにとって大切なことだと改めて感じました。
- ・講師の方々の「事故を減らしたい」という熱意が伝わり、自分も伝える身としてどうしたらよい分かり易い交通安全教育ができるか改めて考える機会になった。
- ・自分達が行って来た安全教室に他県の良い所を3 箇程より入れて効果的な教室にしようと思った。知らないことを知れて目から鱗が落ちた。
- ・実際に交通事故(事件)に合われたご家族の方からのお話は身の引き締まる思いで、これからも自分自身を含め、交通安全を伝え続ける必要があると感じた。
- ・同じ班の指導員は自分よりも意識が高く感じ、いい刺激を受けた。
- ・このところ交通安全教育について悩むことが多かったが繰り返しの教育が大切だと再認識できた。
- ・自転車指導で小学生へ「横断歩道は押して渡る」と指導していますが、それが間違えではないと知れて良かったです。
- ・子どもの判断能力は引くことが研究報告として知ることができ、今後の教室でもそれをふまえて繰り返し伝える重要性を再認識できた。
- ・交通安全を指導している真剣にとりくんでいる人たちと接する事で仕事への取り組み方、やる気が増した。勉強になった。

- ・今年度から交通安全に関わったため、右も左もわからない中で、専門家の方々とディスカッションをしつらい、講義をきくことができたため。
- ・他自治体でどのように交通安全教育をされているか、グループ討議などを通じてあるいは休けい時などにも聞くことができ、参考にもなり刺激にもなりました。
- ・様々な地域の方と協議することで、その地域特有の問題であったり、今日の課題であったりと、交通安全を実施するための課題の多様性を再認識した。
- ・交通マナーのよびかけの意識
- ・高齢者への関わりが少なかったので、改めて考える事ができた
- ・発表を見て、話し方や最初のつかみが非常に重要であることが分かり、私自身司会などをする際に参考にしていきたい。
- ・他地区の状況を聞くことができたり、講話にて様々な分野をお聞きすることができ、参考になりました。
- ・色々な取り組み方があるのだなと思った。
- ・他の方の意見をたくさん聞くことにより、普段の自分の行動、指導者としての指導のやり方などあらためないといけないと思った。
- ・交通ルールを遵守することの大切さ、またそのルールを住民に広く知らせることについて啓発方法を工夫して行うべきだと考えました。
- ・テーマごとに専門的にお話を伺えるととても良い機会でした。今後の様々な年代の方を対象として交通安全教室や啓発を行う時に役立つ内容がたくさんありました。
- ・交通安全を推進する立場であることを再度意識し、自分自身も事故を起こさない・事故にあわない運転を心がけていこうと思った。
- ・講座により、交通安全の意識が今より大きな変化がありました。特に児童に対しての安全を考える様にはなったと思う。
- ・交通安全に対する意識がより深まりました。意識を高めることで、周囲にも良い影響を与えられることを教室や啓発を通して広めていきたいです。
- ・ティーチングだけでなくコーチングでまたはディスカッション形式でも十分に内容が充実しているという事がわかった。
- ・たくさんの情報をえられたのでいろんな視点で教えたいなと思った。
- ・人の心理的なしくみや子どもの成長に合わせた教育が必要だと思った。
- ・交通安全教育は効果の検証が難しく、その効果に懐疑的な思いを持っていたが、本講座を通して教育効果やバックデータを知ることができ、交通安全教育に対する意識が変わった。

少し変化があった

- ・新しい知見がえられた(講座で)
- ・ディスカッションにて、いろんな意見を聞けたため。
- ・交通安全を広めるためには私達のような団体の力だけではなく、周りの方々やその他の学習であったり、環境など様々な力により保てることがわかった。
- ・思ったより年齢層が広く、女性の活躍が目立ち少なくとも「老人クラブ」では無い事を思い知った。

- ・取り組んでいることに対して、改めて確認ができましたし、自転車の青切符についての再確認ができました。
- ・ふり返って自分のものにし活用していきたい。
- ・講義やグループ討議で各自治体から有意義な意見を聞くことができ、改めて幼い子どもの頃から正しい交通安全ルールを「繰り返し」教えることの大切さを強く実感しました。
- ・たくさんの方々との会話で各々の考え方を学ぶことが出来た。新しい情報を得ることが出来た。
- ・交通法が変わったりするから、指導面に役立った。
- ・講師の方々のお話から年齢別に対する交通安全の伝え方にもっと工夫をして行きたいと思いました。
- ・同じように交通安全を伝えている仲間がたくさんいる事がわかり、また先生方のお話を興味深く聞いて、これからまだ頑張ろうと意欲がわいてきた。
- ・どの府県も交通安全教育等で同じ悩みを持っていることが分かりました。グループ討議で出た多くの内容を見て、今後に活かしていきたいと思います。
- ・いろいろな交通安全の講座を受けて、知識が増えて改めて大切な仕事だと感じています。たくさんの人に伝えたいです。
- ・運転の仕方など自分でも考え直すきっかけにもなり、子どもがどのように道路を渡っているかなどグラフで見れたので、教室を行う際によく伝えたいと思いました。
- ・個人的には、事故被害者支援の中土先生のお話には本当に胸が痛み涙が止まらなかった。私にも子ども(成人しているが)がいるので被害者の家族の皆さんの心の傷がどれだけ深く、何年経とうと傷が癒えないということも痛感した。そして事故にあわないように子どもに指導するだけでなく、運転する側の方が気をつけないといけないと改めて思った。
- ・自分の意識だけではなく、まわりの意識も変えていかなければならないと感じました。
- ・中土さんの講義を聴講し、交通事故被害者の複雑な胸の内を聞く経験が出来ました。そして、交通事故被害者を増やしてはいけないという強い想いが芽生え、交通指導員の業務に真摯に取り組んでいきたいと思いました。
- ・教室の進め方に色々な進め方を知り、自分達の信念とする「交通事故防止」の共通の思いを共有できてました。
- ・知った知識を伝えていこうと思った。
- ・交通安全に関する知識を深めるとともに、指導者としての心構えを改めて考える貴重な機会となりました。
- ・自分自身が交通ルールを守っていく必要性を強く感じたから。
- ・グループ討議で様々な所属の方とお話でき、皆さんが取り組んでいることや考え方など今後参考にしたいと思う事が知れて、意識が上がりました。
- ・「交通安全に携わる者」としての意識が強まった。
- ・仕組、内容が多少ながらわかって来たので、自信が付き、活動するのが楽しみです。
- ・交通安全指導員になる前となった今とでも変化があったが、講座を受講して更に意識向上した。

- ・地区研修会を受講したりして、ある程度は交通安全指導に対する意識はありましたが、今回の講座では、対象者ごとの問題や課題を明確に把握でき、どうすればより効果的に指導できるか、考えていく必要があると思いました。
- ・交通安全に対する意識の浸透には難しいものを感じていましたが講座を通して他種指導方法が知り得た。
- ・私達の取り組み如何で、これからの交通安全が変わる、子供たちの未来も変わると思ったから。
- ・「ティーチング」のみならず、受講者同士の対話や意見交換を取り入れた「コーチング」を活用していき、交通安全教室に導入したいと考えたため。
- ・今続けている教室のやり方がまちがっていない、続けていくべきという意識が高まった。幼児に向けてディスカッションは難しいが、できるだけ参加型の教室ができるよう考えたいと思えた。
- ・より楽しく交通教室を進めていけたらいいなと思った
- ・グループ活動で自分たちで話し合い、考えを発表し合うことに足してのていこうが減った。
- ・安全教育がいかに大事かが分かった。
- ・自分の考え、思いが強いと思うが、相手の話しを良く、聴き入れ事例等を活用しコントロールできること安全対策につなげると認知した。
- ・改めて交通安全指導の役割を理解できました
- ・講師の先生たちの話法がすばらしく、あきることがない講話、とても参考になりました。

■どの講座が役に立ちましたか（複数回答）

「横断歩行者保護～交通安全コーチング」(坂主よしみ講師)	51名
「交通安全教育デモンストレーション」(警視庁交通部交通総務課)	57名
交通事故被害者支援について」(中土美砂講師)	49名
「こどもの交通安全教育について」(稲垣具志講師)	80名
「いきいき運転講座」(池田佳代講師)	53名
「自転車の安全利用について」(彦坂誠講師)	49名

■具体的にどんな点が役に立ちましたか。感想等ご自由にご記入ください。

- ・講座の進め方や内容について大変分かりやすかった。
- ・幼児の交通安全指導を行っている為、一番学びたい講座だった。そして先生の話術がすばらしく、あっという間の90分だった。未就学児から中学生までの安全教室がいかに大切かという事がわかった。
- ・こどもの交通安全指導は難しいと考えています。その場では理解していても実施にはルールが守れない事が多いです。稲垣さんのお話しは正にそのことを表していて、実験データにも出ていました。もっと詳しく聞きたかったです。これからの活動の中に色々と考えさせられました。
- ・知らないことばかりだったため、知識が増えた。
- ・子どもの心理や目線に立った指導や短い集中力の中で、如何に教え込むかなど創意工夫が重要だと思いました。

- ・交通安全教室でお子さんの指導をしています。改めて自分のことを見直すことが出来、初めて参加することで、詳しく理解できていなかったことを講話にてお聞きすることが出来ました。
- ・高齢者対象の交通安全教室を行うことが多い、今後続けていくためにもどうしたら良いか考えていたため、いきいき運転講座は参考になった。
- ・指導員になって1年ちょっとで、指導員も1人なので知識がなく、交通安全教室をどう進めたらいいかなど不安なので、今回の講座での学びのすべて。
- ・指導員を何年かやらせていただく上で、情報は入れたり知識を勉強したりしてきたが、まだまだ足りない部分があると思った。専門家の先生方のお話は大変ためになった。
- ・普段子どもたちに指導することが多いので、警視庁交通部交通総務課の方々が行っていた水の色が変わったり、手を動かしながら信号の色の話をすることは教室でも取り入れることができ、とても参考になりました。
- ・各自治体での取り組み方を知る事ができた。
- ・日常の立哨の中での工夫やよびかけ
- ・「自転車安全利用について」では自転車についてくわしく知る機会がなかったので、いろいろなお話しが聞けて勉強になりました。
- ・ヘルメットの ce マークについてはあまり知らなかった点が多く、勉強になった。
- ・具体的な数値がわかったこと、これまでとこれからの交通安全についてのルールなど
- ・安全意识や責任感を再認識できたこと。
- ・実例(ハンドルの使用)やデータをもとにした説明など
- ・交通安全教室デモンストレーションは教室の導入を実演していただき、わかりやすく大変勉強になりました。活用させていただこうと思います。
- ・稲垣先生の講義は子どもには交通安全の教育が必要であるという理由を様々な実験により示していただき、興味深く拝聴しました。
- ・資料はわかりやすく話もききやすかった。
- ・シグナル体操(警視庁の方のデモンストレーション)や発表者の方が披露した「グーチョコパー」など、実際の教室で実践したいと思いました。
- ・「こどもの安全教育」で小学2年生でも(大人でも)横断判断ができていないことに驚いた。そして、声かけの重要性！街頭啓発で日々立つ指導員に伝えたいです。
- ・今年度の高齢者教室でいきいきと取り入れているので参考になった。
- ・飽きのこない引きつけの導入方法から大切な事を伝える方法など、参加者の方々のやり方を聞ききっかけにもなり、とても良かったです。
- ・すぐに教室に生かせそうなアイデアを得ることができた。
- ・幼児、高齢者それぞれどのような点を気をつけるか、特性を考えると今後の参考にしたい
- ・子供の横断判断が危険な場面があると知ることができ、今後の活動にも活かせると感じた。
- ・交通事故防止のために自己理解が重要。もうひとりの自分が自分を見ているという内容。安全教育の方法に新たな発見があった。地域子ども達と一緒にデータを取ったことで勉強になった。

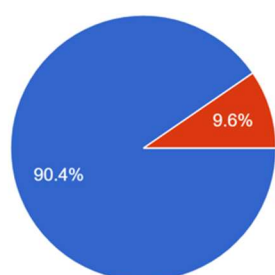
- ・「いきいき運転講座」では、実施者参加者の立場になって体験することで、話す内容や話し方等勉強になった。
- ・子どもがなぜ飛び出すのかということを知れてよかったです。いきいき運転講座のグループディスカッションのやり方などを知れて、取り入れたいと思いました。
- ・他の地域の交通安全指導員の方々の日々感じていることについて、話し合いの中から知ることができたこと。
- ・手品等で幼児の啓発が簡単な材料でできるのが参考になりました。
- ・交通事故被害者支援についての講義は印象強く、心にささる部分が多くありました。一人でも命をなくす人を増やせるよう、多くの人が知る必要があると思います。
- ・高齢者向け教材を実際に体験できてよかったです。
- ・警察の方の教室ネタ
- ・こどもが渡れると思う車との距離の実験の話や声かけでの効果
- ・青色切符についてヘルメットの重要性
- ・教室の進め方の参考になった。立場が変わると交通の意識が高まること
- ・子ども達への導入など使えるなと思えるネタがたくさんあったので、話の引き出しが増えた気がします。また自分自身を振り返る内容も多かったので、交通安全を伝えていく前に、自分はどうだろうと考えるきっかけになったなと思います。このようなタイミングで考えることがなかったので、教室の中でも、色々な年齢の方に自分自身を振り返る時間をとってみるのも良いかなと思いました。
- ・ジョークを交えつつ、しっかりきちんとデータや理論に基づく講義であり、理解しやすかったから。
- ・参加、実践型の講義は即活用可能であり役立つと思います。
- ・今後の教室で使えそう
- ・デモンストレーションでは世代にあわせた工夫をしておられとても参考になりました。被害者支援については、事故後の悲惨さが良くわかりました。交通安全教育については、子供の能力を正しく知って草の根レベルの活動が大切だということがとても良くわかりました。
- ・デモンストレーションのペープサートはとても良いのでぜひ実践したい。
- ・稲垣先生のお話はとてもユーモアがあり、私たち指導員を応援してくれている事が伝わり良かった。
- ・はじめて知る内容で自分の引き出しに入れることが出来た。
- ・子供の学年によって大きな変化があることも数字で見られて勉強になった。
- ・高齢者や子供たちの命を守る為の工夫、声かけ、指導の仕方見落としが無いように心がけて気を付けていきたい。
- ・加害者の人だけが犯罪被害なのかなーと思ったのですが、被害者の人も犯罪被害をかかえている事！
- ・認知、判断、行動、とても聞きやすかったです。
- ・交通事故の原因としての内在的要因
- ・グループ討議をとおして他区での取り組みが大変参考になった。早速取り入れてみたい。
- ・運転をする時、子どもの能力の特性、限界を適切に把握する必要がある。
- ・全てにおいて自分が思っている(知っている)以上の情報が知れたこと
- ・実際の教室の中に取り入れることが出来そうな題材を紹介していただけたのはとても役立ちました。

- ・交通安全意識のしんとうを図るうえでコーチングによる指導が効果的であることを知り、高学年、高齢者への指導に取り入れて実施したい。
- ・実際に検証したリアルな意見がとても刺さった。
- ・子供への交通安全教育において身近な物や道具を使ってアイスブレイクを取り入れる事で、子供の興味を引く事の大切さを理解でき、今後に役立つ事ができると感じた。
- ・交通総務課の方の「手品」「絵本」など取り入れながら、また信号機の色につなげられる教室ができてとても役に立ちました。稲垣講師の渡れると思うところでボタンを押す実験についても結果が興味深く、教室でのちよつとしたお話の中で取り入れ、参加者へのお伝えしたい内容だと思いました。
- ・それぞれの特性理解ができ、指導方法に取り入れたい物が多くあった。
- ・ルール等の再確認ができた。
- ・導入の仕方
- ・話しかたや伝えかた
- ・高齢者への指導方法、関わり方など
- ・自分が知らなかった情報や深掘りされた内容があり、今後講習する上でとても役に立つ、活かせるなと思いました。
- ・話し方など全て。判断における認識のギャップがよく分かった。
- ・こどもの行動に関する実験データは参考になりました。
- ・稲垣先生のデータと実験を用いた、交通安全への取り組みは新鮮で、現状の安全教育を見直すきっかけになるのではと思った。
- ・稲垣先生の小2レベルで車のスピードを見極めることがほとんどできないとデータが印象に残った。低学年までは特に大人や保護者のサポートが必要だと理解できた。
- ・横断できるかの見極めを具体的に説明したこと。
- ・活動の中で内容を濃くできると気付きましたし今後作成していく物に楽しいだけでなく、本当の危険とは意識できる物を作っていけたらと思いました。
- ・導入の仕方や教材がすごく良かった。自分の活動と同じ、似ているため取り入れやすいと思った。
- ・道路横断時の子供特有のパターンを具体例の話もあり、今後の対応に役立つと思います。
- ・論文のデータ、実験データ
- ・安全意識の持ち方として、間違いを正せたり新しい知識を身に付ける事が出来たから。
- ・稲垣先生の講義が楽しかったです。やおやのお兄さんの「交差点で左右かくにんしてから渡ってね」の声かけの効果を知れて、本当にくりかえし、何度でも声かけすることの大切さを実感いたしました。
- ・「こどもの交通安全教育について」にて、アプローチする方法を変えていくこと。
- ・脳トレーニングを活用し、自己評価し、自分の身体能力を知ること、改善できることに役立つ。安全は私がつくることを念頭に、いかり、おごり、あせり、ゆうみ自分の感情をうまくコントロールし、危険回避につなげること、自転車安全利用法則を認識し、安全に努めること。
- ・コーチングの実践的手法を知ることができた
- ・子ども・高齢者の特性を知り、教育に活かす手法を学べた
- ・自ら答えに気づく事の大切さ、交通事故は犯罪であるとの思いが伝わった。

エビデンスがあると説得力が増す

- ・子どもの判断力の実験がとても参考になった。
- ・すべての講師の方のお話が役に立ちます。私が見えない所もあったので気付きになりました。
- ・研修プログラムの作成に参考(取り入れられる)内容があったため。
- ・それぞれの専門分野の方々がデータかして、より交通安全に対しての指導ポイントを得ることが出来た。
- ・小学校高学年でも認知機能は割と低いなどの実験結果
- ・被害者の話しは挿話として活用したい。稲垣先生の内容は分析力あり、おおいに参考になる。
- ・どの講義も大変ためになりました。各講師の方々、ありがとうございました。特に中土先生のお話はご遺族の声を聞かせていただき、「事故」は「ただの事故」ではないと命の大切さを考えることができました。稲垣講師の横断判断実験の内容も、とても興味深かったです。
- ・これからの自転車の安全についての利用度が変わらわられると思う。
- ・赤・青・黄色のうちを上げてそれぞれのポーズをとってもらうミニゲーム。子どもからお年寄りまで使えそうだったと思った。
- ・身近に加害者も被害者も居ないで非常にありがたい事だと思った。こども達は自分が思っていた何倍も危険？な存在であり、見かけたら基本止まろう。
- ・言葉や知識として理解していたものが、実際の実験データで裏付けされることもあり、とても勉強になりました。(人に伝える時に説得力がUPしました)また、伝え方についても学ぶことが多かったです。
- ・一時停止をするかしないかの討論で様々な意見が出たため、「自分にとってはこれが正しいと思っけていても、皆の話を聞くうちに考えが修正される点」
- ・実際に被害者のご家族からのお話を直接聞いたことがなかったのでこのような機会をいただけて良かった、講話を聞いている人たちの中にももしかしたらいらっしゃるかもしれないということを思いながら言葉にも気を付けていきたいと感じた。
- ・啓発の際に聞く人を飽きさせない工夫、惹きつける工夫や、議論に参加したり自ら考えたりすることを通じて自分の行いをあらためさせる手法が参考になりました。
- ・被害者の意見を聞くこともでき、体験型の講座に参加することで、指導の仕方も学ぶことができました。
- ・毎朝信号機のないところの横断の見守り等を行っている、つづけていくことの自信につながった。
- ・地域性があり、自分の地域にも活用したい。
- ・警視庁の教室デモンストレーションを取り入れてみたい。
- ・それぞれの年代の視点や統計、実験結果などにより効果的に交通安全ルールを啓発する方法を学べた。また、今回講義で教えていただいた、手遊びや脳トレなどの手法は交通安全教室を始める前に実施することで、交通安全に対する興味や理解を上げることができそうなので積極的に取り入れていきたい。

■ 開催方法：会場来場・オンライン併用での開催はいかがでしたか



● 適当
● 不適當

適当	85名	90.4%
不適當	9名	9.6%

適当
<ul style="list-style-type: none"> ・遠方からだと直接会場に行くのは難しいため。（複数コメントあり） ・より多くの参加者が集まるこの方法は素晴らしかったです。オンラインの方たちのグループ討議も会場で聞いて、とても参考になりました。 ・顔と顔のつながり良かった ・体調や交通事情を考えますと適当かと思います。 ・今回オンラインで参加させていただきましたが、講座を受けたり、ZOOMでのディスカッションを行ったり、とても充実していました。会場ならではのコミュニケーションもあると思うので、どちらか選択できるのは良いと思います。 ・地域、年齢、性別と視野が広くとても有意義 ・本来であれば会場来場にしたいかったが、子どもがまだ小さく3日間家を空けるのがためらわれたため、オンラインで参加できてよかった。 ・オンラインでの講座でしたが、1人の講座ではなく、複数の人との開催にしたら、良いのではと思う。1人での講座ですが、グループ討議の時は少し安心した。 ・次年度、オンラインでの参加であれば費用をかけず良いと思う。市と相談。 ・会場参加は密に話し合えるメリットがある。オンラインは参加出来ない事より、少しでも情報を得る事が出来るので、併用開催はいいと思う。 ・対面の方がより意見交換がし易かったが、多くの参加を求めるとなれば講座はオンラインでも良いのでは。 ・対面で共感するはなし、気づきがあるので、私はすごくよかったです。 ・より多くの方々に参加しやすいと思った。 ・全国から参加者がいるのでオンライン併用は良いと思う。会場とオンライン参加者がつながる部分があまりないので、別開催でも良いのではないか。 ・他地域の人の声をきくことができ、モチベーションにつながる。 ・参加者の都合に合わせられるから。 ・他県の指導員さんと話し合いができてよかった。 ・討議については対面が良いと感じた。 ・オンライン併用で会場迄来れない人も参加出来る範囲が広がる。 ・会場来場は実際に会って討議ができたため、やりやすかった。 ・全国の方の話を聞ける機会はなかなかないので、併用はとてもよかったです。

- ・フェイス トゥ フェイスで話をきける人とオンラインでも参加したい人が併せて受講するのはとても良いと思った。
- ・各人都合があると思うので、併用が良いと思います。
- ・同じ志をもつ方と話をすることができ、今後の活動への意欲や向上心につながりました。
- ・色々な人の話が聞けて、色々なやり方を知った。
- ・オンラインでもよく見え、聞こえ、こういうやり方でも十分参加できるとわかり、新鮮だった。
- ・オンラインでの参加が可能であり、とても助かりました。討議中のグループに分かれての話し合いは、ルームの移動等があったり、ネットワーク状況もあり、うまく話し合いが進まずが多かったため短い時間の討議は難しい部分もあると感じた。
- ・業務の都合上、オンライン参加であれば可能でしたので、ありがたいと感じました。グループ討議についてもスムーズに切り替えていただき、問題なく受講する事ができました。
- ・オンラインでもスムーズに出来て良かったです。
- ・遠隔地からでも手軽に受講出来るため。
- ・初めてのオンラインでしたので良い経験でした。
- ・たくさんの方が受講出来るので、オンラインは適当だと思う。
- ・遠方においてもオンラインにて会場来場者を交えた同時受講が出来て有意義でした。
- ・会場の雰囲気も味わうことが出来たし、オンラインでの討議もスムーズで問題はなかったです。
- ・遠方の上、3 日間の講座となると前日、移動日を考えると 1 週間近く(約 4~5 日?)家を空けることになるので、オンラインで講座に参加できたのはありがたかった。
- ・オンラインの活用で参加者も多くできて、意見交換ができると思います！
- ・オンラインで参加しましたが、場所的な違和感を感じることなく、参加できた→移動がなく負担を感じないなど手軽に参加できるのでよいと思います。
- ・オンラインでの受講は講義を聞くという部分ではいいかと思いますが、グループディスカッションは少々難しいと感じた。
- ・オンラインは始めてなのでなれないせいか、目がつかれました。会場に行ってみたいですね、良いと思います。
- ・初めての ZOOM で緊張していましたが、みなさんととても話上手の方が多く進行もスムーズですぐまとまりありがたかったです。
- ・会場で人と会って、直接伝えられる話もあるので来場して良かった。
- ・会場…分かりやすくきれいだったので良い。
- ・業務上、現地に伺うことが難しかったので、オンラインで参加できたことはありがたいです。
- ・直接会場に行けなくてもオンラインで講義を聞くことができた。グループワーク等も問題なく行うことができたから。
- ・遠方でも参加しやすい。オンラインでもグループで話し合いが出来るので良い。
- ・旅費、予算がなくても充実した研修が受けられてよかったです。
- ・スムーズに行うことができ、良かったと思います。

- ・ズームでの参加でしたが、時に支障なく受講できました。グループ討議も支障なくできましたが、会場で直接お話すほうがもっと活発に話ができ、より意見が出たのではないかと思います。
- ・オンラインでも会場の人たちと同じように講師の話を聞くことができ、グループディスカッションもできるため、会場に行かなくても講座を受けられるのはありがたかった。
- ・会場に出向かなくて良い。説明者が身近に感じられる。受講者とリモートで話しができる。
- ・会場での参加が難しかったためオンラインで参加しましたが、参加しやすかったのではないかと思います。
- ・指導員同士の情報交換ができた。(来場)
- ・オンラインの方も会場と同じ形でグループディスカッションして発表してと実施が可能だから。
- ・来場できない方への配慮があって良いと思うが1つの会場に集合した方が横のつながりができて良いと思う。
- ・子どもがいるので会場へ3日間だと参加できませんでした。オンラインでもタイムラグなく、問題なく参加できて良かったです。
- ・それぞれのニーズに対応されていると感じた。
- ・様々な理由で東京まで来ることが難しい人もいると思うので併用がよいと思います。
- ・会場のよさ(交流)があるため、全てをオンラインにしない方がよいため。
- ・本当であれば会場に出向いて全国から集まった方との交流を深めたい所ですが、平日三日間となれば、業務に支障が出てしまう為、オンラインとの併用で開催はありがたいです。
- ・会場に行けない人でも全国の同じ「交通」という業務に携わる人と交流をはかることができるので。
- ・朝の立哨をしたからの会場参加ができないため、オンライン参加はたすかりました。オンラインでのグループわけなどもしていただき、ありがたかった。
- ・指導員の中にはまだ子どもが小さく、連泊することも難しいものがいたのでオンラインで受講できて良かったです。庁舎内にいけば緊急の問い合わせ(教室の依頼等)にも応じることが出来るので良いと思う。
- ・仕事の都合上、オンライン参加が良かったので、オンライン併用がありがたかったから。
- ・オンライン側から見ても、講話やグループ討議にて思ったよりはスムーズに併用の開催になったと思います。ご準備等大変だったかと思います。また、当日も対応ありがとうございました。
- ・今回オンラインでの参加でしたが、途中でシステムトラブルで何度か退出することがありました。会場とオンライン両方を気に掛けて進行していただいていたと思いますが、グループ討議から会場に戻った際に既に討議が始まっていることがありました。
- ・遠方で会場に来られない等にも対応できるので！オンライン併用は良いと思います。
- ・駅からとても近く、コンビニ、飲食店もあり便利だった。
- ・会場との温度差は感じたが、特に問題はなかった。
- ・交通の便が悪いのでオンラインは適当だと思います

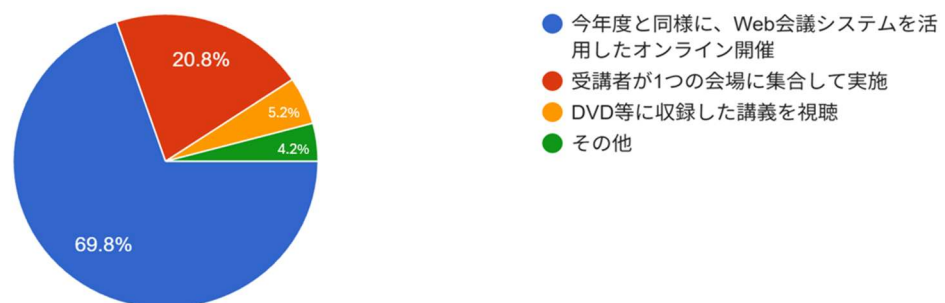
不適當

- ・オンラインは移動がなくていいのですが、オンラインに不慣れの為、いきなりグループ討議画面になり意味がわからず、皆さんの顔を見ているだけで終わってしまった。グループ討議は会場の方がしっかり話が出る気がします。
- ・マイクが入っていない場面や説明も無くグループに飛ばされて、理解が難しかった。
- ・会場とオンラインとの温度差を感じた。ディスカッションもしにくく、時間がかかる為、足りなかった。次回こういった講習を受ける機会を頂ける時は会場で受けたいと思った。
- ・会場とオンラインでの温度差を感じた。グループ討議の際も全体の顔が見える形式でしたが、話にラグがあったり、会話がとぎれたり、途中で回線がきれたりして会話がしっかりできずにせっかくの機会なのに残念だなと思いました。顔を見てその場で話をするのがグループ討議には大切ななと感じました。
- ・オンライン参加者の顔も見れず、反応等、全く分からなかった。
- ・オンライン初体験であり、少々疲れた。慣れが必要であった。時間で画面が切られるのが残念に思う。講義内容は良く理解できた。
- ・費用と移動時間の削減には良いが、活発なディスカッションとなるとオンラインでは難しいように思いました。
- ・特に坂主よしみ講師の時に感じました。グループ討論になった時に、オンライン参加のグループ分けの画面になり、何人が写っていただけで、無言のまま何もすることもなく無の時間だった。
- ・時間差、電波(通信のつながりぐあい)
- ・オンライン併用、実感がない。
会場で話し中に中断されることが何回もあった。パソコン間だけで会話してほしい。
- ・ZOOM 参加：話し合いをするにあたって、時間が途切れる際に、残り時間が分からず発見しにくかったため。戻ったら進んでいる場面もあつたりとラグを感じた。

■実施方法：どのような実施方法が効果的だと思いますか

実施方法

96 件の回答



今年度と同様に Web 会議システムを活用したオンライン開催	67 名	69.8%
受講者が 1 つの会場に集合して実施	20 名	20.8%
DVD 等に収録した講義を視聴	5 名	5.2%
その他	4 名	4.2%

※その他：終了後に WEB でアップしてほしい、少人数での実施

■ 今後改善してほしいところ、また改善策があればご記入ください。

- ・宿泊、交通の連絡がかなり遅かった。全てを立て替えるのであれば、上限を示して頂き、自分で手配する方が良かった。（複数コメントあり）
- ・グループ分けの人数が多く、発言できない人がいた。（複数コメントあり）
- ・休憩時間が短かったので、もう少し時間がほしかったです。（複数コメントあり）
- ・講座に使用する資料、しおり等はもう少し早く配布して欲しい。（複数コメントあり）
- ・ネットワークトラブル、声がききずらくなったり、小さくてボリュームを上げなくてもきこえない。
- ・リーダーを決める指示を的確にしてほしかった(予め指定しておく等)
- ・オンライン参加が初めての方も多かったようで、音声が始めのうちはよく入っていたので、取扱方法を事前に周知してもらうことが必要かと思います。
- ・オンライン研修はとても参加し易く、次回も参加したいと思いました。
- ・改善してほしい点は特にありません。非常に受講しやすかったです。
- ・講習中に突然オンラインになり、あまりやり方がわからない時があったので、説明をしっかりと入れてほしい。
- ・グループ討議はオンラインではやりづらいです。
- ・オンラインの接続テストをバラバラに行うのではなく、開催の際にピンポイントで指定し(時間帯は何回かに分ける)、参加者同士をある程度アイスブレイクさせると、より良いグループワークにつながると感じた。
- ・グループ討議の司会進行役は主催者側で行って欲しい。※司会者の方には申し訳無いが、全く有意義な時間にはならなかった。全体的にどんどんまわして意見を聞いて欲しかった。
- ・事例発表を希望したものの、するかどうかの回答がないままで発表の配布資料提出まで 2 週間というタイミングでの連絡となったので、するかしないのかだけでも早めに決めて連絡してほしい。
- ・パソコン等の扱いが苦手だから。
- ・参加条件を「指導員 5 年以内」や「初めての受講」ではなく、誰でも何度でも受講 OK にしてほしい。
- ・ホテルが駅から遠く、表の道路の音が騒がしかった。ホテルや航空券も立て替えるなら自分で選んで予約したい。
- ・自分へのメール連絡が届きませんでしたので、そこを改善して下さい。
- ・会場優先に進められるのでオンラインがおいていかれることが多々あった。
- ・音ワレをしていて聞こえづらい所があった。ディスカッション等はオンラインには向いていないと思われる。
(交通コーチング)
- ・現地参加させてほしい。
- ・グループ討議以外で講話の途中で少人数でブレイクアウトルー、ウに飛び、お話するとなったときに「話しているのかな?」「誰がまとめるのかな?」と少しとまどいました。少人数グループ討議があることも事前に知れていたら良かったかもしれません。
- ・オンラインで開催する場合、事前にグループの方のお名前など教えていただけると話がしやすいかなと思います。人によって名前の変更がなく、市町村でお呼びしたり、会場からの「○○兼の○○さんがいるリーダーの方」と言われても、そこまで確認できていなく分からない状況があったので、改善していただけると嬉しいです。
- ・時間に追われていて十分な討議時間がとれなかったのが残念です。

- ・ZOOM のテストや資料配布をもう少し早くしてほしい。
- ・一番最初に座る席からグループ別にして頂けるともっとコミュニケーションや情報交換が出来たのでは？と思います。
- ・他市の取組みをもっと知りたいです(実例でも事前資料作成でも)
- ・グループ討議の前に稲垣先生(こどもの交通安全について)のお話を聞きたいと思います。(特に飛び出しについては先生のお話を聞いてから検討したかった)
- ・せっかくのグループディスカッションなので、それぞれの地域のやり方を参考にしたかったので、1 時間位の時間がほしい。
- ・発表時間(討議)が短いので、発表者数を減らし、時間を増やしても良いのかな？と感じました。質疑を検討する時間を検討。
- ・坂主先生の講義の際、会場の出席者への意見を聞かれましたが、カメラアングルが定点設置であったため、どのような会話であったか?(マイクではひろっていた)が、視覚的に誰が発言しているのか分からなかった。カメラワークを配慮していただければと思う。
- ・他地区との取り組み状況などについての意見交換の時間がもう少し欲しかった。何故なら意外にも同じような課題を抱えており深堀の議論ができれば更によかったと思います。
- ・とってもしっかり良かったです。改善してほしいところはこちらのネット環境が悪いと思うのですが、音声、画像がフリーズしてしまうことがあったので視聴しづらいことくらいです。
- ・オンライン受講をさせていただきましたが当方では当日に借用 PC による受講であるため、Word 等に対応出来ずデータ報告に苦慮しました、事前に使用アプリ連絡、報告データ送付があれば、スムーズな受講が出来たと思います。
- ・ズームに慣れていない人が多い中で、オンラインの人が取り残されるような感じがかったのでグループのリーダーを先に決めておく等しておいた方がスムーズだったかなと思います。
- ・ディスカッションの発表時のスクリーン映像ですが、字が小さく見えづらいように感じたので、そのまま使用するのではなく、簡単にパワーポイントを作成するとよりわかりやすいかなと思います！！
- ・何度も参加できるようにしてほしい
- ・同じ資料 2 セット配布は経費のむだ使いになるので 1 セットで
- ・オンラインとの一体感がない、何をしているのが全くわからなかった。
- ・資料がない物があったり(1 日目に確認しました)統一していただけたら不安な気持ちにはならなかったです。
- ・資料、メールが遅く感じたので早めに送っていただくと助かると思います。
- ・連絡が遅すぎる、遅くとも 1 か月前には経路、ホテル、資料の送付を終えてほしい
- ・送られてきた資料にはホテルは事務局手配、口座は先に記載すると書いてあったのに変更されていた。
- ・ホテルから会場までの交通費が出ず、食事も含まれていなかったのに費用を払わなければならないことが疑問。
- ・できれば前日入りにしてほしい。
- ・講座が概ね 90 分を越える場合には休憩を入れて欲しい

- ・資料は Web で閲覧できれば郵送は不要。荷物は減らしてほしい。会場に用意してあると言っても会場に着くまでに予習をしておきたいので持ってくる必要はある。
 - ・時間がたりません！
 - ・事前に郵送された資料と同じものが当日、会場にも用意されていたので、紙ベースが増えて管理が大変だったので、改善してほしい
 - ・事例発表者だけでなく、参加者の活動内容を簡単で良いので資料を出していただいたら色々参考になると思います。
 - ・事務局の方の説明のテンポが速く、理解が不十分でした。高齢者になると個人差大きいのかも。
 - ・地域の格差、役者の協力の度合により、問題やなやみが大きく違うと思うので、現状や問題を聞いても半分くらいが非参考案となる。地域別に開催してほしい。
 - ・1人での講座(1室で1人)では少し不安があり、グループでの講座をオンラインで出来ればと思います。
 - ・オンラインで受講中、講師が話している際に、講師画面・資料画面の2分割で表示するのではなく、資料画面を拡大して映してほしい。手元のない資料をワード等にメモしたいときに、画面が小さくなってしまい、文字が見えずにメモすることができなかった。各グループの討議結果記入用紙を、3日目の発表に間に合うように事前配布していただきたかった。後日でいいので、近亜紀の全グループ分を頂戴できると幸いです。
 - ・近県だけどそれなりに移動が大変なので宿泊したかった。
 - ・ZOOM⇔会場の切り替えが當津善でグループメンバーの話の途中で切り替わることが多かったので、可能であれば切り替え前にカウントダウンをしていただけるとありがたいと思いました。
 - ・期間2泊3日はやはり長いと思いますので短縮願います。
 - ・話し合い(小グループ)で会場に切りかわる際には残り何分と表示していただきたい。ZOOM参加。
 - ・オンラインの性質上仕方がないことですが、対面とは異なり講師との距離感があり臨場感に欠けることもありました。→議論の最中に画面が急に会場の画面に遷移し会話が都度中断されたため。後半に実施されたように、残り何秒で終了になるかお知らせいただけるとやりやすいと感じました。
 - ・特記事項なし ※遠方だったので前泊か会場付近のホテル希望
 - ・オンラインだから時間のロスはありますが画面表示が小さすぎる。講師の時間は名前を下に表示する様に。
 - ・経費の問題があるがもう少し時間が欲しい。進行にはもう少しゆっくりしゃべって欲しい。
 - ・グループ討議についてですが、質疑応答は全員発表が終わった後にまとめてではなく、そのグループの発表が終わった後、疑問が浮かんだすぐのタイミングの方が意見は出やすいと思いました。
- ※それを実行するのは時間の関係上難しいと存じておりますが、、、

■ 講師への質問等ありましたら、ご記入ください。(複数記入可)

○坂主講師への質問

・リーダー研修に使用したいのですが、動画やプログラムの考え方等を使ってもよいですか

【回答】

- ▶ 動画・教材は自由にご活用いただき、問題ありません。
- ▶ ご活用の場合、坂主にご一報・共有いただけますと嬉しいです。

坂主よしみ E-MAIL keisumichan1113@gmail.com

ご連絡フォームは、下記ご参照ください。

【内閣府指導者講座教材使用】〇〇県・所属団体、ご氏名、ご連絡先
実施日時、場所、対象者（参加人数）、主催者、講師名、ご感想など。

・小学校でコーチングをする時、保護者も一緒に参加してほしい場合、コーチングする資料は、子供と大人と別条件のものを用意して、させた方がよいですか。

【回答】

- ▶ 子どもたち向けに教室を実施しているところを保護者には後ろで見えていただき、一緒に学んでいただきます。
(動画の中で、子どもの視界の狭さや行動がわかるようになっています。)
子ども向けの教室が終了後、5分程度で、「子どもの交通事故の実態」を解説するとよいと思います(手引書の参考データご参照)。
- ▶ 教室を分けてできるのであれば、保護者向けに教材の「2-1 信号交差点・右折時での危険—ドライバー編」を実施してもよいと思います。
- ▶ 今回の講習は、他の講師より子ども向け講義があり、私はプレゼンを控えましたが、ご希望があれば次回ぜひお伝え出来ます。

・教材を使用したら報告は必要でしょうか。

使用するにはどこに連絡をしたら良いでしょうか。（ワークシート等のダウンロード方法）

【回答】

▶動画・教材は自由にご活用いただき、問題ありません。

▶ご活用の場合、坂主にご一報・共有いただけますと嬉しいです。

坂主よしみ E-MAIL keisumichan1113@gmail.com

ご連絡フォームは、下記ご参照ください。

【内閣府指導者講座教材使用】〇〇県・所属団体、ご氏名、ご連絡先

実施日時、場所、対象者（参加人数）、主催者、講師名、ご感想など。

▶動画・ワークシートは、下記 日本自動車工業会の WEB サイト上にありますので、

ご自身で簡単にダウンロード可能です。

[横断歩行者保護 | JAMA - 一般社団法人日本自動車工業会](https://www.jama.or.jp/operation/safety/pedestrian2023/index.html)

<https://www.jama.or.jp/operation/safety/pedestrian2023/index.html>

○警視庁交通部交通総務課への質問

・毎年同じ、幼稚園、高齢者クラブへ行くので、導入はととても悩むところです。今回の発表されたのは、YouTubeや CD-R で見れるものではないでしょうか。

ヘルメットを被っている時と被っていない時の豆腐の映像が欲しいです。

今回ご覧いただきました導入は、映像として保管しておりません。導入につきましては、諸先輩方から教えていただいたもののほか、保育士さんなどから手遊びを教えていただいたり、YouTube 等で見た映像を交通安全につなげて使用したりしております。

ご要望の豆腐の実験動画については、当方で作成したのではなく、他係が内部資料として作成したものであり、公表しておりません。ヘルメットを2つ、木綿豆腐を2丁、少し厚めの素材のビニール袋2枚（スーパーに備え付けのビニール袋では薄すぎて破けてしまうので使用不可）、ビニール袋の口を縛る輪ゴムを用紙していただければ再現できますので、ぜひ実験してみてください。

・毎年実施している教室の内容は変えていますか。（保・幼・こども園及び小学生）

子供向け、高齢者向け等、対象に応じた安全教育を実施しており、内容につきましては、担当者によって変わりますが、基本的な安全教育の内容は変わりません。

その時々交通事故情勢に応じ、対象者に伝えたいポイントを絞り、子供に対しては横断歩道の渡り方（道路の安全な渡り方）等、高齢者に対しては反射材の効果と活用方法、加齢に伴う身体的特徴等、年齢問わず要望があれば、自転車にルールとマナーや自転車の安全な乗り方等を実施しております。

・ヘルメットと豆腐の動画は研修に使えますか。入手方法を教えて欲しいです。

ご要望の豆腐の実験動画については、当方で作成したものではなく、他係が内部資料として作成したものであり、公表しておりません。ヘルメットを2つ、木綿豆腐を2丁、少し厚めの素材のビニール袋2枚（スーパーに備え付けのビニール袋では薄すぎて破けてしまうので使用不可）、ビニール袋の口を縛る輪ゴムを用紙していただければ再現できますので、ぜひ実験してみてください。

・警察ではティーチング的手法での教育が主だと思いますが、コーチング的手法・大人向けの手法についても教えて欲しいです。

「ティーチング的手法」がメインですが交通安全教育の中で事例について、問いかけ、それに回答をするといったやりとりを通して、自発的にルールを守ることの大切さを理解してもらっています。

・配布していただける絵本や DVD などがあればともうれしいです。

現在まで、配布できる絵本や DVD 等に関して配布できる教材はございません。
大変申し訳ございません。

・ヘルメットの豆腐実験は私どもも行うことがあるのですが、必ずヘルメットに入れた方の豆腐の袋から水漏れします。対策はありますでしょうか。

ホームセンターなどで販売している少し厚めの素材のビニール袋が良いかと思われます。
※スーパーに備え付けてある、ビニール袋では薄すぎて破けてしまうと思いますが、ビニール袋を二重にするなどの対策を講じてみても良いかもしれません。

・今回発表していただいたことを HP に載せていただくことは可能でしょうか。（教室で活用したいです。）

大変申し訳ありませんが今回の発表内容について、警視庁HPへの掲載予定はありません。また、参加者の皆様に撮影された動画等を各団体HPへの掲載についてはご遠慮お願いいたします。

・手品絵本ありがとうございました。値段を知りたいです。

商品名は「彩色ブック マジシャングッズ パフォーマンス用プロップカートゥーンデザインマジック」だったと思います。
価格につきましては、¥1,500程度だったと記憶しております。はっきりと覚えておらず、大変申し訳ございません。

- ・ネットで保有の帽子に装着する簡易なヘルメットも有効なヘルメットなのでしょうか。

警視庁では、SG マークをはじめ、安全性を示すマークが付されたヘルメットの着用を推奨しています。安全性を示すマークについて、当庁 HP にも掲載がありますのでご参考とさせていただきます。

○中土講師への質問

- ・指導員が具体的に支援に関わることがあるのか教えて欲しいです。

指導員さんというお立場の方が具体的に被害者支援に関わったことがあるかは、私個人としては見聞きしたことはありませんしおそらくセンターとしても不明です。他方、私自身が地域の方から受けた支援としては PTA 会長から PTA 保険の対象になるという情報をくださったことや亡くなった息子にお供えしてほしいとコンビニエンスストアの店長さんがアイスクリームをくださったということがありました。また、事件現場にお花を供えられるよう献花台をお手製で作ってくださった方もいましたし、事件の再捜査を検察庁に依頼する内容の署名活動を行ったときには見知らぬ地域の方が協力して 4 万 4 千名もの署名を集めてくださいました。面識のない被害者やご遺族に接するには人づてで繋がっていくしかありませんが、指導員さんというお立場で被害者支援についての情報提供を行うなど積極的に被害者の方々に関わってくださることで地域の支援力の向上になるのではないかと思います。

- ・交通安全教室などで被害者支援について伝えて、広めたいと思いますが、どのような伝え方がありますか。

被害者支援を広めていきたいというお気持ちに心より感謝いたします。これが正解という策はないかと思しますので具体例のご紹介になります。都内の警察署や市区役所では当センターで貸し出している被害者の方のパネルや被害者支援関係パネルを展示するキャンペーンを随時行ったださっています。そうしたツールが他府県にあるかはわかりませんが、お住まいの地域でそういうものがないかをお調べいただいで、連携して広報活動を行っていくのも一つの方法かと思えます。また、ご遺族自身の活動として私が既知の取り組みとしては、東京で「交通安全の朝顔の種まきプロジェクト」や京都の「ひまわりの種絆プロジェクト」熊本での Coffeeaid 活動とリンクしての被害者支援活動（ネットで検索できます）などがありますので、そうした活動への参加も被害者支援の広がりにつながるのではないかと思います。

・現在足りない支援制度は何でしょうか。

犯罪被害者支援全般で言えば殺人や傷害、性犯罪の被害者等への経済的支援や刑事手続きへの関わりのあるさらなる拡充など社会制度を挙げればきりが無いと思いますので、ここでは私が個人的に特に交通犯罪被害者等に必要なものとする一例をお示しいたします。（被害者等それぞれ感じ方や考え方は異なりますのでご了承ください）自動車関係では任意の損害保険をかけていることが多いので交通関係の被害者等は故意犯罪の被害者よりは比較的経済的補償は得られるかと思えます。

（注：ケースにもよります）ただ過失割合を決めたり、遺族の場合は家族の命に値段をつけるような作業は精神的苦痛を伴います。加えて保険会社や加害者の弁護士とのやりとりを被害者等自身でしなければならないのは物理的にも精神的にも負担が大きく弁護士のサポートを得ることが望ましいです。ただ弁護士特約に入っていない場合は高い費用がかかりますし、被害者側の支援に詳しい（特に交通事件関係）弁護士を見つけることはかなり難しいです。また、自動車事故対策機構（通称ナ斯巴）や交通遺児育英会など良質な既存の支援制度があっても、個人情報への壁があり、必要な人につながっていかないということもあると聞いています。支援制度を知っている人がその情報を必要な被害者等に確実に伝えていけるような地域のコミュニケーション力が必要だと思います。そして支援制度の充実にプラスして、大切なのは身近な人たちが被害者の方々に対して表面的な同情や可哀想という憐みの気持ちでなく、相互扶助的な思いやりの心でその方の尊厳を尊重しつつ接していくことではないかと思えます。

○稲垣講師への質問

・横断判断実験の結果（2年生の3/4が誤判断率60%以上）などを交通安全教室の際に活用しても問題ございませんでしょうか？

実験結果を交通安全教室で引用いただいて差し支えありません。その際には講演者である稲垣の所属・名前を明記いただくと幸いです。今回の講演の他には、稲垣が学術論文として土木学会や交通工学会で発表しているものがありますので、ご興味があれば論文検索していただけますとご参照いただけます。

・先生が思う、幼児向け、小学生向け、高齢者向けの教材へのアドバイスをいただけたら嬉しいです。（パワーポイントにて教室は行っています）

また、子供がやりがちな危険行為（飛び出しなど）の映像（教材に使用可）がいただけたら嬉しいです。予算が大変少ないので、できれば無料でお願いしたいです。

子どもを対象とした教材の作成にあたっては、発達段階に応じた情報内容や発信方法を工夫することが必要ですし、特に幼児については重要な教育主体である家族（親・祖父母）の意識を高める方法を考えることも求められます。また一般的な交通ルールに留まらず、それらを日常の生活場面に適用できるような具体性が与えられることも大切です。成人に対しては安全教育のターゲットとなる人が「自分にとって有益だ」と思わせる手法が必要でしょう。特に高齢者はリスクの高い行動であっても、これまでの豊富な人生経験の中で問題はなかったという自負を優先させてしまう傾向があるので、危険行動をいかに客観的に捉えられるかがポイントです。

子どもの飛び出しなどの不安全行動の映像は、ドライブレコーダーの記録動画が警察の YouTube チャンネルやホームページをはじめ数多く公開されていますのでご参照ください。

・車軸速度の 3 段階の数値について、参加者に事前に知らせていたのでしょうか。

横断判断の実験はたまたまその場所を通過する車両を対象に実施しましたが、その場ではスピードは計測しておらず参加者にも知らせていません。また一般の車両に混ざってスタッフが運転するテスト車両も走行しており、その速度の目安として 3 段階の数値を示しましたが、これらの速度値も参加者は知らされていません。

・とても惹きつける話し方でしたが、何かポイントはありますか？

話し方についておほめくださり恐縮です。人の命を守る交通安全について真剣に考えている人物であることを示しながらも、交通安全関連の話題、諸活動の楽しさを伝えることで、受講者の皆さんが笑顔になって前向きに自主的に考えてもらえるような講演展開・雰囲気づくりを意識しています。プレゼンテーションは「話すもの」ではなく「聞くもの」ですので、「自分が何を話すか」よりも「聞き手が何を受け取るのか」に重点を置きます。提供する情報の内容が同じであっても、聞く側の立場や価値観によって変わる受け止め方を想定しながら、必要な言葉や話し方を選ぶようにしています。講演全体の軸となるテーマ、ストーリーはぶれないようにして、そこに心を開いてもらうための肉付けをしていくようなイメージで話す内容を組み立てています。

・研修資料は、地域での研修に活用（流用）することはできませんか。

（各種データは交通安全教室でも使用可能でしょうか。）

資料を交通安全教室に活用・引用いただいて差し支えありません。その際には講演者である稲垣の名前を明記いただくと幸いです。今回の講演の他には、稲垣が学術論文として土木学会や交通工学研究会で発表しているものがありますので、ご興味があれば論文検索していただけますとご参照いただけます。

・小学生の判断力の実験がとても驚く結果で、自分の子供（小1～小4）も実は判断力が低く、横断しているのかもしれないと不安になりました。

認知に力を入れて指導していたが、判断力の大切さを伝えていこうと思います。

中学生、高校生に対する交通安全教育をする際の注意点はありますか。

小学生は交通事故のリスクそのものを正しく認識できないことが基本ですが、中学生以上になるとリスクを認識しながらも、様々な事情により敢えてリスクを取りにくい傾向が認められるようになります。また社会性についても意識が高まってくる年代ですので、リスクを冒して事故に至った場合の社会的責任や家族をはじめとした関係者への影響といった、交通事故のもたらす悲しい結果を論理的に伝え、そうならないため取るべき行動を説くといった手法が求められるといえるでしょう。

・3～5歳の子供に対する指導はそれぞれ年齢別に分けての指導が効果的でしょうか。

年齢よりも子どもの一人ひとりの個性や住んでいる地域特性に着目して、その状態・状況にあわせた指導を家庭で考えていただくことが大切だと思います。子どもは親の交通行動を見ながら安全センスを身につけ、居住地域での日常生活で取るべき交通行動、留意すべき交通ルールを家庭の指導で学ぶこととなります。未就学児には年齢によらず我が子の手本となる立場として、子どもの性格にあわせて日ごろの安全な行動選択を意識することが重要と考えます。

・日常的教育の働きかけ(PTA・地域の人等)具体的なアクションがあったら知りたいです。どのように、どんな場所で協力を仰ぐのか等

町会、自治会、商店会、学校、地域協議会などの地域コミュニティに関わるそれぞれの関係者が、地域の子どもたちの交通安全を確保することの重要性を認識して、具体的な行動に向けた合意が取れることが重要です。役所や警察を含め、現時点で地域の安全を主体的に考えてくれそうな人たちに働きかけて、少しずつでも多様な立場の地域関係者を巻き込んでいけるとよいでしょう。

・これから取り組みたい研究課題は何ですか。

現在、子どもの下校後の交通特性を明らかにする研究を進めています。事故統計では、下校後の自由目的（習い事、遊び、散歩などへ向かう状況）で歩行している際の事故が、登下校時と同程度顕在化していることもあり、それこそ通学路ではない、公園近くの交差点や、夕方になると車両交通量が増える経路などでの、子どもの行動を観察する調査を進めています。また薄暮時や夜間の安全対策の提案に向けて、関連メーカーとの共同研究も展開する予定です。

・テキスト P40 の空欄箇所 3 つの答えが聞き取れなかったため教えて欲しい。

以下の通りお知らせします。

①「断続的な」安全イベント

・キャンペーン・シンポジウム・安全運動…

②「持続的な」安全教育

・家庭・地域・校外委員の役割・協働は必須！

・小1の一般道路で歩き方教室をすると信号のない道路を横断時指導員が促さず見守っていると遠くから向かってくる車が見えるとほとんどの子供達が動けません。いつまでも横断できない状態ですが、今日の実験結果を見て、小さいころからの慎重さ、待つ心の余裕を育てるべきか、横断のタイミングを学ぶように促す事が良いのか迷いが出てきました。

特に小学校低学年に対しては「慎重さ、待つ心の余裕を育てる」方を選択すべきです。走行車両に限らず、リレーでお友達のバトンを受け取ることが難しいなど、動いている物に対して自身の行動を適切に選択・調整し実践する力が備わっていないからです。「とまる・みる・まつ」の「まつ」をいかに徹底させるかが重要です。横断タイミングについては、子どもが車両を認識しながらも、接近した危険な状況で「横断できる」と判断するといったような事態が認められた時に、その深刻度を伝える手段として活用することが望ましいと思います。それが本講演で申し上げた「積極的な交通安全教育」です。

○池田講師への質問

・自分の運転の振り返りの対策について、もう少し深く知りたいので、教材があれば教えていただきたいです。

①奥山祐輔、太田博雄「高齢運転者のための自己評価能力教育プログラム開発
——「ミラーリング法」による教育の可能性」

『交通心理学研究』36号-1、p 22-30、2021年3月31日

②太田博雄編「コーチングによる交通安全教育」ナカニシヤ出版、2018年11月30日

③「いきいき運転講座」好事例集 日本自動車工業会 HP

①②ともに、自分の運転の振り返りを使った教育手法の目的と効果評価が記されています。③は実際にこの手法を活用した指導者の感想が書かれています。参考にしていただけると嬉しいです。

(①と③は、webでタイトルを入力すれば検索できます)

・「いきいき運転講座をしたい」となった場合、脳トレ問題はどこで見たり、教材をいただくことはできますか。

日本自動車工業会 HP の「いきいき運転講座」のコーナーに、「交通脳トレ3カ月」の教材があります。無料でダウンロードすることができます。ぜひご利用ください。

・実践、ビデオ、話し合いの参加型が良かったです。自分の身に置き換えて考えることができるのが良かったです。講座に参加しない人たちをどのようにして参加させるのでしょうか。

ご質問は、みなさん共通の悩みだと思います。

以前この指導者研修に参加された方が、教材が科学的に作られていること、楽しみながら自分の問題点を発見できることがよかったので、ご自分の感想をPRに使ってみるといっておられました。この講座を体験された実感を、案内にお使いいただくことも、一つの方法かと思います。

○彦坂講師への質問

・自転車の横断歩道の走行について、質問お願いいたします。

本来は押し歩きとお話がありましたが、指針などに「歩行者の通行を妨げる恐れがある場合は乗ったまま通行してはいけない」とあると思いますが、実際、どのような場合から違反になりますか？歩行者の横を危険なくすり抜けられる際は違反ではありませんか？地域の交通指導員さんで、人がいる、いない関係なく、「横断歩道は降りて」と指導していた方がいました。いつから乗ったままで良くなったのか、どんな状況なら降りるのか詳しく教えて欲しいと、以前質問されました。これについて、どう伝えてあげるのが良いかご指導いただくと助かります。

警察ではないので違反の判断は難しいですが、私見としては自転車の通行によって“横断歩行者が立ち止まる、もしくは避ける”といった状況が歩行者の通行を妨げる行為に当たると思います。立ち止まらなくてもギリギリをすり抜けるという行為も「事故を誘発する危険行為」とみなされると思います。狭い横断歩道や横断歩行者が多い場合であればハンドル操作を誤って衝突することも想定されますので、押し歩きの方が安全です。また、安全指導という観点から考えると、横断歩道の押し歩きを知ってもらうことで車両意識の醸成や、歩行者優先の意識向上につながると思います。横断歩道上の乗ったままの通行は平成 20 年 6 月 1 日施行の道路交通法施行令からです。

・小学校への交通安全教室にて、1～2 年、3～4 年、5～6 年の学年に分けて、パワーポイント中心に教室を実施します。事故映像等を使うのに無料の良い映像を借用できるサイトはありますか？（予算が厳しい為ぜひ教えて欲しいです）

あくまで例ですが、JA 共済の「ちいきのきずな」というサイトで、動画をはじめとしたコンテンツを公開しています。警察庁や大阪府警察交通部のほか、自治体等の YouTube 公式チャンネルでも動画があります。多くは交通事故の実映像ではなく、スタントマンによる再現が多いのではないかと思います。映像を使用する場合、どのような行為が事故などの危険につながるのかを理解できることが重要です。小学生に限らず実際の事故映像ではなくても、再現動画でもその説明は行うことができます。

・前科が付くとなれない職業がある→生涯なのでしょうが？

国家資格の多くは前科を「欠格事由」としてしますので、たとえ資格を保有していたとしても失うことが多いです。刑の言い渡し効力がなくなれば再取得も可能であると思いますが、警察官・検察官・裁判官といった官職、金融業や警備業などのコンプライアンスが厳しい業界は、前科が影響する可能性は考えられます。

・歩道を走った場合、今後は即取り締まり対象となるのでしょうか。

「歩道通行可」標識がない歩道を自転車で通行した場合、これまでと同様に「指導警告」を基本として指導するとお聞きしております。「指導警告」は悪質性や危険性が高くない行為を対象に、交通安全意識の向上と行動改善を目的にするものです。しかし、歩行者のすぐそばを速い速度ですり抜ける、歩行者側が驚いて立ち止まったようなケースでは重大事故に発展する恐れがありますので、青切符等によって取締りを受けることとなるのではないかと思います。

・やむを得ず歩道を走る場合は車道より、歩行者は歩道上で自転車の注意を払う義務はないのでしょうか。

例外的に歩道を通行することができる場合でも、あくまで歩道は歩行者の通行のための道路部分です。過去の裁判事例などをみると、歩行者側に「自転車に注意を払う義務はない」という考えが基本になっています。一般的に歩道上の対歩行者事故は自転車側の過失として判断されますが、歩行者が歩きスマホで自転車と衝突したケースでは、歩行者側に10%程度の過失が認められた事例もあります。

・自転車を停止して（またがった状態）でのスマホ使用は、青切符となりますか？

スマホの使用は停止している時は違反対象になりません。ただ、どこでも止まれば良いという話ではありませんので、「路外などの安全な場所に停止してから使用しましょう」と伝える必要があります。

・長崎県は自転車に乗れない、乗らない子も多く、指導者も大変少ないです。そういった地域向けの講習なども行ってもらえますか。

山間部や坂道が多いエリアは自転車利用が少ないですが、別の地域に行けば自転車を利用する可能性は大きいです。特に子どもたちは、将来、様々な地域へ転居する可能性がありますので、今は乗らなくても将来のため・・・を考える必要があります。自転車は初めて利用する「車両」でもあることから、自転車の交通安全教育は、将来的な自動車などの安全運転や交通安全意識の醸成、歩行者保護の意識に大きく寄与するものです。地域に対する講習も実施可能ですし、指導者養成も実施することが可能です。

- ・ヘルメット着用率の向上に向けて、一番有効な手段は何ですか。

着用率向上はとても難しい課題ですが、最も有益なのは「皆が着用している」という状況を作り出すことではないかと思っています。「子どもだけ」「自転車通学する生徒だけ」ではなく、あらゆる年齢層が着用している姿が理想です。そのためには自治体職員はもちろんのこと、地域の団体・企業等で自転車を利用する機会がある方々等の業務上着用から広げて、ヘルメットを目にする機会を増やすことが重要だと思います。中高生の子を持つ保護者も、子ども達にはヘルメットを着用してもらいたいと思いつつ、ご自身は非着用という方は多く、そうした状態では自転車通学では着用しても、いつかは着用しなくなってしまいます。公式 SNS などがあれば積極的に情報発信しても良いと思いますし、自転車競技を行う部活動の生徒さんの意見などを、市報などの媒体に掲載して発信してもよいと思います。また、実際に触れてもらうことも重要です。展示する機会があるようであれば、複数種類のヘルメットとヘルメットロックやヘルメットバッグなどの盗難防止用品なども一緒に展示することをお勧めします（着用しない理由として、駐輪場での保管方法がわからないという意見も多いです）。そもそもすべての自転車利用者にはヘルメットを「着用するよう努める」義務があります。単に「着用したくない」は違うのではないかと思います。根気強く訴えてかけていくことが大切です。

- ・参考となる URL を教えていただけますでしょうか。

- 内閣府「交通安全対策」 <https://www8.cao.go.jp/koutu/index.html>
交通安全基本計画のほか、調査研究や白書などが閲覧可能
- 内閣府「交通安全教材」 <https://www8.cao.go.jp/koutu/kyouiku/index.html>
啓発動画・資料、イラストなども掲載
- 警察庁「自転車の安全利用の促進」
<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bicycle/index.html>
自転車の交通安全教育ガイドラインやルールブック等を掲載
- 警察庁「自転車ポータルサイト」
<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bicycle/portal/rule.html>
新しく立ち上げられた web サイトで様々な情報を掲載
- 警察庁「統計表」
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/toukeihyo.html>
交通事故統計や分析を掲載
- 交通事故総合分析センター <https://www.itarda.or.jp/>
事故統計や調査分析研究資料、事故調査資料等を掲載
- 各都道府県警察の「自転車の交通安全」web サイト など

- ・今回の講座資料を来春からの当市の交通安全教室で使用することは可能でしょうか。

イラストは、基本的にイラストレーターに著作権があります。教室などの限られた範囲でお願いします。特に web サイト等で広く発信することはご遠慮ください。

- ・「視野について」や「ヘルメットの正しい着用方法」などを教材として使用していいですか。

イラスト部分はイラストレーターに著作権がありますので、教室などの限られた範囲で、web サイト等で広く発信することはご遠慮ください。

- ・私が作成したヘルメットの着用方法のチラシを、正しい内容かどうか添削していただくことは可能でしょうか。

当協会では有償となってしまいますが、監修業務を行っていますのでお問合せいただければと対応させていただきます。

また、(株)オージーケーカブトの Helmet Guide

(<https://www.ogkkabuto.co.jp/hg/ind.html>)

をご参考いただくと良いかと思えます。

- ・外国人対象で自転車の交通安全教室を行う場合、どこに焦点を当てて取り組んでいけば良いですか？

国によって通行方法の違いや交通安全に対する考え方が異なりますので、対象国の交通事情を確かめておく必要があります。最近では、様々な国の交通事情は web サイト等を通じて得ることができますし、Google のストリートビューなどを活用すれば、実際の交通状況なども見ることができます。

日本の場合は比較的交通法規に対する遵法精神が高いと思いますが、国によっては信号も守らず無秩序に横断しているケースも少なくありません。そもそも電力事情により信号灯火が消えていることもあるうえ、道路標識は存在していても日本のようにきれいな標識が細やかに設置されていないと、信号や道路標識を確認する習慣がないことも十分に考えられます。日本における生活エリアの写真を用いて、より具体的に例示しながら実施するとわかりやすいと思います。

事故防止が最も優先される課題ですが、道路を共有するものとして、自他の生命尊重を基本とした交通安全教育が大切です。そのうえで『交通ルールに従う』という“基本”をお伝えしていくことが重要ではないかと考えます。

■ 今後、講座で取り上げてほしいテーマ等がありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・自転車 1 のグループです。全員ヘルメット着用についての関心があり、各々の意見も拝聴出来ました
が、専門家による考察を是非伺いたい。
- ・保護者への交通安全意識づけに関する有効なアプローチ方法
- ・子ども特に低学年による交通安全対策の講座を希望します。
- ・交通安全教室で途中や始めの導入やクイズ等を長めの時間をとって取り上げてほしい。
- ・交通指導員の指導力、スキル向上について
- ・自転車の青切符(交通反則通告制度)の運用を通じた交通安全
- ・交通安全教育のコーチング的手法について (複数回答あり)
- ・移民ドライバー
- ・最初分けてもらった班の中でもあったのですが、大人(保護者など)のモラルということで、意識改革をして
いけるのかをもっと知りたいです。
- ・グループで検討しあいますが、最終的な法解釈を説明して欲しい。
- ・グループ討議では追加でテーマを決めず自由に情報交換を行える時間も頂けると更に有意義な研修に
なるのではないかと感じました。
- ・自転車への「反則制度」導入に伴う、各反則対象項目の解説
- ・自転車等に対する交通反則通告制度導入後の反則行為状況と指導方法について
- ・全国の皆様ともう一度討議したいです。教えて頂きたいです。
- ・実際に高齢者や幼児教室で行っている導入、手品、寸劇等をたくさん見たい。(簡単にすぐ取り入れら
れる)
- ・又、同じメンバーでの報告会があれば目標になると思います。「バージョン 2 の実施」
- ・3 つのテーマについては必須であると思います。あおり、ながらに特化した講義等があれば、ありがたいで
す。
- ・全体に良くできていた HONDA の教材について、私の地域でも使用していますが、教材が古くなってい
る為、他の県の方がどのように使用しているのか、効率よく伝えるポイント等を、一度話をきいてみたいと
思いました。私だけではなく他の県の方も使われていたということで参考にしたいです。
- ・法令が改訂になる件、なりそうな件など教えてほしいです。
- ・効率的な交通安全教室のやり方
- ・幼児に伝わりやすい言いまわし
- ・稲垣先生の子どもの飛び出しについて実験した結果を知れたのはとても良かったです。今後も、子どもや
高齢者の特性について実験した結果などがあれば知りたいです。
- ・横断歩道で待つ場合、1 歩～3 歩下がるという指導しているのが県や市で差があるので、どれ位が良
いのかテーマにしてほしい。
- ・子供の保護者への働きかけをどのようにしたら良いか
- ・不意に加害者になってしまった場合の当事者のお話を聞いてみたい。
- ・外国人向け交通安全教室や指導内容
- ・地域住民、学校、警察との連携の仕方

- ・指導方法(実践)が知りたいです。
- ・全ての講座がとても役に立ち、勉強になりました。自転車ルールの変更時でもあり、自転車はやってもらいたい。
- ・自転車のルールについては来年度も入れていただきたいです。
- ・その時々ニーズに合ったものを適宜
- ・教材、講話について(幼児向け)実際に使っている物などを知りたい。
- ・交通と防犯の関わり
- ・自転車「ヘルメット着用の推進」と自転車「交通ルールの周知について」
- ・交通安全教室ですぐ使える様な教材の案内。Webでも可。もっとたくさん教えて頂きたいです。
- ・学術にあまり取り上げられてない内容を知りたい。
- ・新しい研修手法、項目になるような知見、委託先等
- ・自転車マナー違反者への会話のやりかた、子どもへの教育方法など
- ・実践で役に立つ内容を多く取り入れて欲しい。
- ・なし(多岐にわたる内容で、講師の方も個性的な方もおり、興味を以って受講することができました)
- ・逆走やドラレコの事故例紹介と考察やアクセル・ブレーキの踏み間違い
- ・外国籍の方が地域で生活する上で交通ルールを知る機会を増やしていけるように良い活動例があったら学びたいです。是非テーマにとりあげていただきたいです。(※保護者向け等の事例もあつたら、こちらもお願いしたいです)

■ 講座全般にかかわるご意見・ご感想・ご要望(要旨)

- ・電車の経路案内連絡が遅かったです。
せっかく有意義な研修でしたがその点が残念でした。
出来ればもっと早く経路案内をいただきたかったです。(要旨) (複数コメントあり)
- ・今回オンラインで、自転車グループでのグループ討議に参加させていただきました。来年4月から反則金も導入される中、全国の皆さんと課題等共有しながらお話できたこと、とてもよい経験となりました。
講義も今後活かしていきたい内容がたくさんあり、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・講師の方や他参加者から多様な対象者への様々な啓発方法を教わりましたので、今後の交通安全啓発に活かしていきたいと思います。この度は貴重な会議を設けてくださりありがとうございました。
- ・研修の設定準備ありがとうございました。
- ・大変お世話になりました。今後の指導に入れていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・各講義、グループ討議と知識を増やし、深める事ができました。貴重なお時間を頂きありがとうございました。
- ・新たに学ぶ講義がなかった。
- ・アンケートが長く面倒くさい。
- ・グループ討議の発表において、スクリーンの文字が見えづらかった。
- ・資料配布は無くてもいいと思う。各自印刷、PCを持ち込めば足りる。
- ・長い時間の講座90分以上のものであれば、5分程度でよいのでトイレ休憩の時間があれば良いと思いました。
- ・担当スタッフの方々の対応がとてもいいで良かったです。お世話になり、ありがとうございました。
- ・支援の具体的な内容(手続き)を主にお話が聞きたかった。
- ・大変有意義な講習でした。ありがとうございました。
- ・ボランティア参加者(旅費支給)への連絡を密にしてほしい(直接のやりとり)。旅費支給の見直し(必要経費の算出と実態に即した)WEBでのグループ討議、発表はやりにくいかも。発表時間は短すぎるかな？
- ・音声が聞き取りにくいので、ワイヤレスマイクの使用でオンラインでも理解出来る様に。
- ・他県の活動や考え方等をうかがう事ができ良かったです。
- ・資料は教室等で使わせていただいても良いのでしょうか。
たとえば、日本交通安全教育普及協会様の道路の絵とかつかえますか？
- ・発表担当で大変良い経験となりました。ファシリテーターの方がとても上手で助かりました。
- ・多くの自治体の方の話を聞くことができ、勉強になりました。
- ・講師の先生方のお話しはどれも勉強になるものばかりでした。私の知識が乏しい為、すぐに実践するのは難しいかもしれませんが、今回学んだ事を少しずつでもこれからの交通安全教室に活かしていきたいです。ありがとうございました。
- ・テーマを分けてディスカッションをすることで、多くの意見、考え方、目線などを習得できればいいなと思います。コロナ以降、オンライン受講が始まったと思いますが、一同を介することで他府県間の人間関係の構築と情報の共有につながると思います。

- ・参加者の選考について、各自治体で決められていると思いますが、今回の講座を通して、行政(市町村の交通安全担当)も受講して欲しいと感じました。交通安全教育について、現状、現場に丸投げされていると感じています。この様な講座を受講することで、もう少し現場を理解していただけるような気がします。
- ・大変有意義な時間を共有させていただき、ありがとうございました。来年も開催される際は、又参加させていただきたいと思います。
- ・12月が年の中で一番事故が多い時期だと思うので、もう少し、前の時期でもいいかと思った。
- ・グループディスカッションを行う時の説明不足を感じました。グループ討議では、1人事務局の方が入っていただけなのでスムーズでした。音声の不備を感じました。
- ・オンラインのディスカッションの人数が多いと発言できない人がいるので、人数の見直しが必要かと思う。ディスカッションの際にも発表のときのように残り時間をだすと良いと思う。
- ・講座3日目に、この2日で一度も班長やマイクでの発言をしなかった人を当てて、全員に発表の機会を与えてほしい。
- ・会場参加者へ宿泊手配をどうしたらいいのか、せめて1ヶ月前までには確定してほしい。地方の方は東京のホテル事情がわからないので、不安をもたれた方も多かったと思います。
- ・グループワークの席は、横長より各参加者の距離が等しくなるように配置した方が良い。
- ・JATRASの方の講話で、最後時間がなく、飛ばしながら進化したのがもったいないと感じた。最終日にはあったが午後にするなど時間を取っていただけると嬉しかった。
- ・3日間ありがとうございました。とても雰囲気がよく、過ごしやすかったです。
- ・指導員歴が少ない人向けの基本的な講座があると良いです。※指導員によってルールのとらえ方が違うときがあるので、統一した事を学べる場があると助かります。
- ・オンラインでのグループ討議では進行の切り替えが急で、参加者が戸惑う場面が多く見られました。残り時間が分からないまま議論を進めることになり、話している途中で切り替わってしまうなど、オンラインならではのやりにくさを感じました。アンケートも早く、日常業務を行いながら大変でした。
- ・他市町の教室の内容の映像が見たい。全部でも部分的でも、たくさんの教室が見たい。会場のスライドを見せてほしい。
- ・講座のなかでディスカッションする場面が多々ありましたが、毎日違う席で違うメンバーと話すのもいいかもしれないと思います。より多くの人と交流が持てるのではないかと、、、
- ・参加させて頂き、ありがとうございました。今後の教室に活用させていただきたいと思います。
- ・オンラインですが、事前に接続テストはあったものの、初日の少人数のグループ討議では勝手がわかっていない方もいて、ほとんど内容の話し合いにならなかったことが残念でした。
- ・講座の時間を60分もしくは90分で行って、休憩を規則的にした方が良いと思います。
- ・地域や教室開催の所属により運営の仕方、進め方が皆さん異なったので、色々なやり方を共有してもらい、大変有意義な時間でした。持ち帰り、少しでも良い方法へと改善なり出来ればと思います。
- ・業務をしない自分にとっては多少場違いな感じもしていて申し訳なく思う。個人的には大いに勉強になり大変だったけど良かったと思います。

- ・特に1人1室でのオンライン講座でしたので少し不安があり、2名でのオンライン講座としていただきました。
- ・種々の準備等ありがとうございました。※オンラインはあっても良いと思いますが、(遠方など事情がある方)、ディスカッションは会場の視聴するだけでもよいと思いました。
- ・初めての講習でとても内容が充実していました。あつという間の3日間でした。他のグループとの交流がなかったのが残念でした。色んな方々がいらっしゃいましたが指導員同士の話し合いがしたかったです。
- ・とてもためになりました。参加してよかったです！ありがとうございました。
- ・各項目毎、交通安全対策詳細にわたり講義いただき、ありがとうございました。今後、交通安全の啓発に努めていきます。
- ・3日間ありがとうございました。全国の交通安全に関わる方とたくさんお話ができて楽しかったです。各地さまざまな状況で活やくされていて、自分も更にながらばっていいなと思いました。講師の方のお話はみなさんととてもすばらしく、東京まで来たかいがありました。
- ・テーブルが布で書き辛い、討議メモは全てのグループのものを印刷してほしい。
他の参加者がどのような立場でどのような活動をしているのかが全く分からなかった。最初に自己紹介を全体でやってほしい→討議のときに自己紹介が必要になってしまい時間がとられる。
- ・質問ではなく、感想ばかりの意見になりましたが、交通安全についていろんな考え方、視野がふえて講座受けて良かったと思う。
- ・帰って行政担当者に今回の経験を伝えたい。他県参加者は行政所属の交通指導員の方が多かったので、当県からも幅広く参加者を募るよう申し送りたい。
- ・たいへん運営が上手で助かりました。資料はどちらか一部で大丈夫です。
- ・講義についていくのに精いっぱいでしたが、とても勉強になりました。
- ・講義をはじめグループ討議における全国各地の交通安全指導者の実践内容や体験談を参考に今後の指導活動に役立てたい。
- ・各市町村の取り組み等を同じ立場の方々から聞くことができ、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・グループ討議は他地区での取り組みを知ることで、発見があった。可能であれば、もう少し時間が欲しい。
- ・とても内容の濃い講座でした。これから学んでいくことが多いので参考にできる資料などを使っていきたいです。今後は受講できていない方達と一緒に活動してくれている市役所や警察の方にも受講してもらえたらと思いました。
- ・車がなければ行くのが難しい場所の幼稚園、保育園があります(荷物も多い)。他県の行政の取組方が大変手厚く、うらやましいです。行政の予算ややり方を発表する時間があつたらいい。車がなくなると啓発活動はおろか、教室にも行けない！！もう少し予算が上がる様につたえたい。
- ・3日間ありがとうございました。スタッフの方々の対応がとても丁寧で、気持ち良く過ごすことができました！！
- ・ZOOM参加でしたが、非常に良くわかりました。

- ・他県の指導員さんのお話を聞ける機会がないので、楽しかったです。もう少し時間があると良かったかなと思いました。講師の方の話方や内容も勉強になりました。
このような機会を頂き、ありがとうございました。
- ・オンラインでの参加できたが、聞き取りやすく、わかりやすかったです。
グループワークでも新しく知ることも多くあり、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・交通安全教室の内容については皆さんほぼ同様であると思います。どの様な教材を使用しているかを紹介いただき参考にさせていただけたかったです。特に手作り教材など、、、。どんなパネル？紙芝居？手品？キャラクター？ぬいぐるみ？
- ・交通指導員になって、1年半位なのでまだまだ未熟ですので今回講座はとても勉強になりました。
ありがとうございました。
- ・私も含め ZOOM が不慣れな人が多く講義がしづらかった。会場の方が話しやすく、盛り上がっているように感じた。3日間疲れたが、とても参考になった。毎年参加できればいいのになと思った。
- ・たいへん参考になる有意義な講習であったと思います。可能であれば現地受講したかったです。
ありがとうございました。
- ・スムーズな運営でとても気持ちよく受講できました。たくさんの準備ありがとうございました。
受講できてよかったです。
- ・5年以内の経験年数という参加者の縛りがあったが、それ以上の方も参加できるように緩めてほしい。
複数回の参加を可能としてほしい。
他市町村の方たちとの情報交換できたことがとてもよかった。大変参考になった。
個人的には、グループワークの時間不足で整理しきれず、発表が煩雑になってしまったのが残念だった。
事務局の皆様、大変有益な研修会を開催していただき、ありがとうございました。
- ・全て楽しく、為になる講義でとてもありがたかったです。次はぜひ会場で、みなさんと一緒に話をしながら参加できたらと思います。お世話になりました。ありがとうございました。
- ・タイムスケジュール的にもスムーズに進行していただき、興味深い内容、知っておかねばならない情報ばかりだったので受講して良かったです。3日間ありがとうございました。